



クロモ シーリス

特255

868

工 藝 常 識 講 座  
近 代 生 活 の 家 と  
家 具 と 装 飾  
帝 國 工 藝 會 編  
木 檜 恕 一 述

東京 三省堂 大阪



始





特 255  
868

クロモシーリス

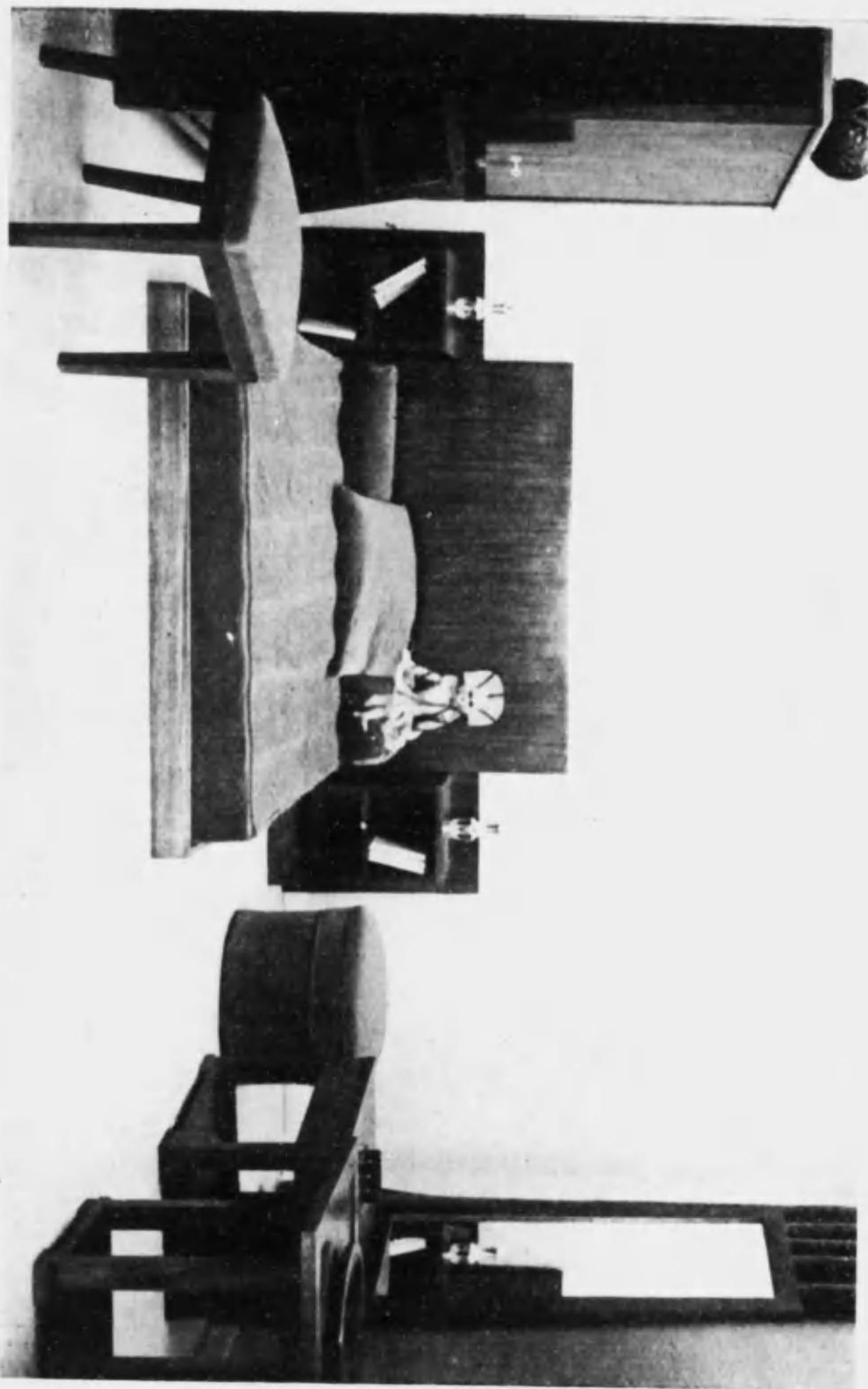
工 藝 常 識 講 座

近 代 生 活 の 家 と 家 具 と 装 飾

木 檜 恕 一



東 京 三 省 堂 大 阪



(作 テ ッ ヲ フ) 例 一 の 具 家 の 西 蘭 佛 代 近



# 近代生活の家と家具と装飾

## 目次

一	家の改善……………	一
二	座敷の長所……………	四
三	椅子式の生活……………	六
四	押入の改良……………	八
五	家具の選擇……………	一三
六	フランスの家具……………	一五
七	家具の意匠……………	一八



八	造附の家具	二二
九	兼用の家具	二五
一〇	室内の整頓	二七
一一	室内の裝飾	三〇
一二	室内の色調	三三
一三	ウォールペーパー	三七
一四	カーテン	四〇
一五	カーペット	四六
一六	電燈	四六
一七	家具の手入	五

# 近代生活の家と家具と裝飾

東京高等工藝學校 教授 木 檜 恕 一

## 一家の改善

近來我國は凡ゆる方面に向つて、著しい文化の發達を遂げましたが、就中多年の間放棄せられて殆ど顧みられなかつた人間生活の方面に於て、文化的に非常に覺醒して來たことは、最も著しい現象であります。

明治の維新は、西洋の文物を初めて我國に輸入した時であります。獨り人間の生活に最も必要な衣食住、殊に住に就いては、遺憾ながら全く取り残されて居つたのであります。蓋し人間生活のことは、其の國の氣候や風土、殊に國民性に多分の關係がありますから、



外國のものを輸入して其の儘直ぐに我國に役立たしめるといふことは、其處に大なる困難があつたからであります。然るに時代の力は、何時迄も斯かる状態を維持してゆくことは許しません、即ち今日の大都市を取圍む郊外に、永い傳統を破つた所謂椅子式の文化住宅をドシ／＼と産み出さしめるに至つたのであります。良し家は假令其の儘であつても、其處に椅子式の家具を取り入れて見やうといふ考へは、恐らく今日の都會生活者の、誰れの頭にも浮んで居ることであらうと思ひます。夏の暑さを忘れやうとして、籐や柳で作つた家具の二つや三つを持たぬ家は、恐らく無からうといふ點から考へても、此の大勢を十分に洞察することが出来ます。

惟ふに時代の進歩に伴ふ國民思想の變遷は、在來の家其の儘では決して満足することが出来ないのです。我が住宅が段々と椅子式に改まつて行くことは、全く時の問題でありませう。私は今の子供が大きくなつた時が、即ち夫れが一變する時であると考へて居りますが、蓋し當らずとしても遠くは無いことと思ひます。

凡て物のレファイン即ち改良せられる其の根本は思想であります。そして夫れが實際に現はれるのは、最も身に近い所から行はるゝのが常である。即ち第一は衣服から洋傘や帽子、其他靴、腕時計などの装身具が改まり、次には室内の家具から、カーテンや、カーベツト、其他額縁や、置物、電燈具、喫煙具等の工藝品が改良されて、最後に家や庭園の改良となるのが普通の順序であります。或は一面に改良は最も實行し易い所から着手せられると見ても差支へありますまい。此の點から考へて、新らしい家を建てるといふよりも、先づ以て在來の家を現代の生活に相應はしい様に改めるといふのが、實際の順序でありませう。そして之で十分に研究し且つ訓練されて、然かる後除るに新しい家を建てるのが最も理想であると思ひます。多くの人々の中には、家許り先に改良して、實際十分使ひこなせないで、却つて悲哀を訴へて居る者もあります。併し亦之と反對に家を先づ改良し、夫れに依つて日常の生活や習慣を改めてゆくことも、一つの案には違ひありません。



## 二 座 敷 の 長 所

却説在來の家の座敷を改善すると申しましても、多年の間我國の獨特な氣候や風土、殊に國民性にと依つて鍛え上げられたもの丈けに、其處には尙ほ棄て難い多くの美點があることを忘れてはなりません。アノ放漫な二方や時に三方を悉く開け放つた室内に對しては、可成り多くの缺點もありますが、亦反面に於ては其の縮りの無い所に中々良い所もあります。何うしても日本の様な夏の暑さと濕氣の多い氣候の中では、窓が多くて風通しの十分に行き届いた室内が最も望まれるのです。洋風をう飲みにした丸でマツチ函の様な室内では、一刻も安樂に過すことは出来ません。窓とも入口とも區別の無い、全く明け放たれた風通しの自在な座敷から、軒の出の多い椽側を距て、直ぐに縁の深い庭に接して、思ふ存分に自然に浸される所などは、我が住宅としては最も鍛練された所であります。又冬の襖や障子が葦戸や簾戸と入り替り、其他綿入の布團が英座の布團と置き代へられて、

極めて手軽に涼しい室内と早替りしてゆく點なども、全く誇るに足りる長所であります。更に細かい部分に就て言へば、床の間や床脇棚書院廻り、其他欄間や天井椽側の野地の直接に見える所などは、技工として最も洗練された所で、其の外観の素朴な所に、最も深い親し味があり、従つて之を棄てるには如何にも忍び難い所があります。假令將來の住宅が椅子式に變るとしても、斯様な長所を徒らに破棄することは、元より堅く戒しめねばなりません。

要するに、我が在來の家で、最も長所とする所を求むれば、寧ろ科學的の方面よりか、却つて趣味的の方面に、幾多の尊い民族的な特徴のあることは申迄ありません。科學的に大なる改良に迫られて居る我が住宅から、趣味的の方面の特徴を、何の考へも無く取り去つてしまうことは、誠に許し難いことでもあります。

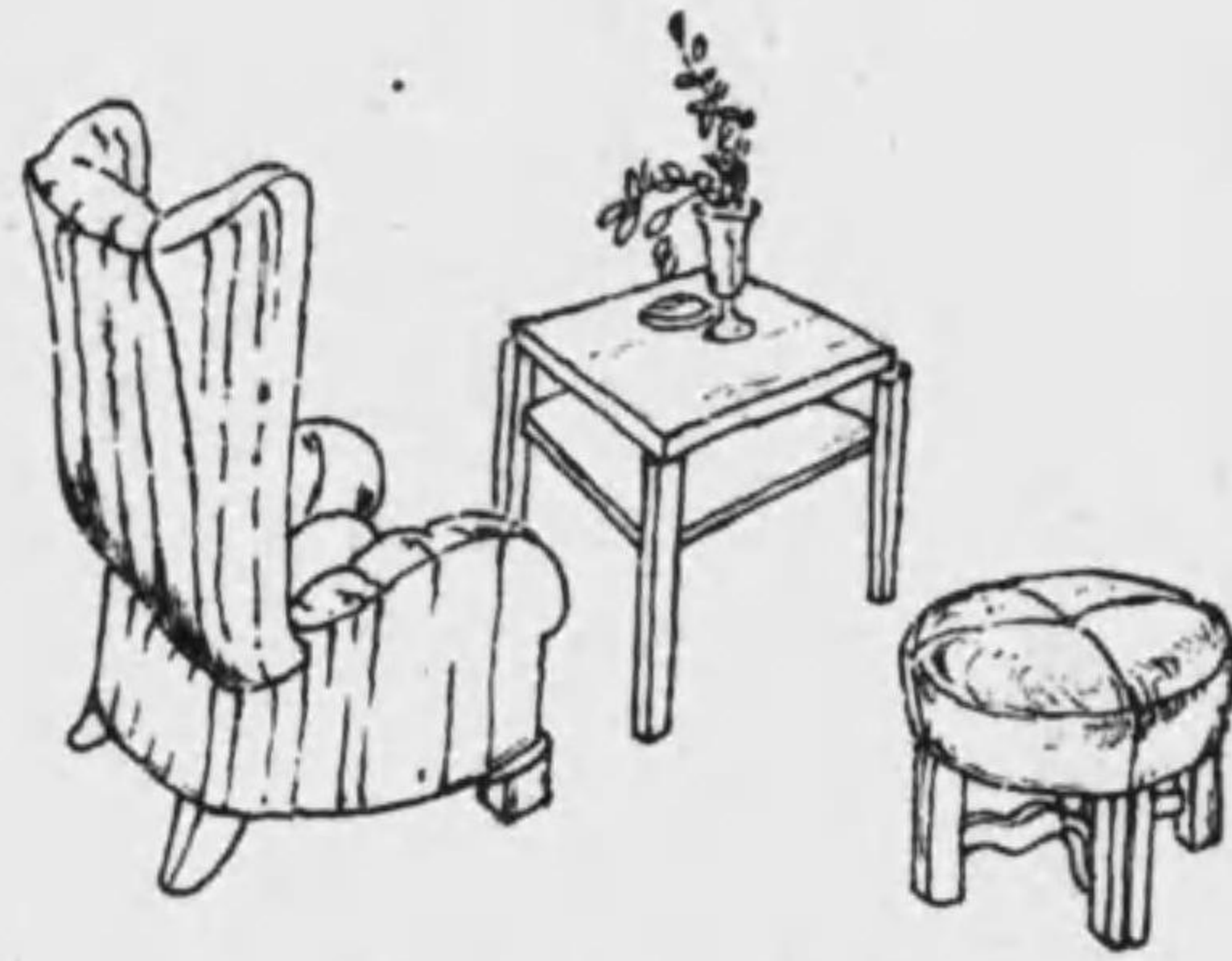
凡て藝術に於て、個性の表現といふことが重んぜられると同様に、生活も亦一種の藝術であるから、その住宅の上にも必ず生活者の個性が現はれて居らねばなりません。日本の



家に日本人としての一種の民族的の趣味が現はれて居らないならば、其の家は日本の建築としての意義が殆ど無くなつて参ります。何れの國に於てもその住宅の上には、必ず民族的の趣味が纏つて居る。夫れと同様に個々の家には、亦その生活者夫々の趣味や個性が現はれて居らないと、自分の家としての尊さが無くなつて参ります。従つて我が在來の家なり室内なりを、唯だ徒らに新しい思想に驅られて、何の思慮も無く之を破壊してしまふことは、大に慎しまねばならぬことであると思ひます。

### 三 椅子式の生活

以上の點から考へて、若し在來の室内に椅子式の設備を施すとすれば、家は其の儘にして、疊の上に成る可く上等な支那絨氈でも敷いて、其の上に最も品位のある、而かも住宅として極めて柔らか味に富んだ家具を置けば最も無難であり、何時でも直ぐに取り替えられる所に便利な點もあります。尤も此の場合の座敷は、相常に立派なもので無ければなり



椅子式の家具

書齋や應接間を建てるのが、其の一つの現象であります。勿論之は良いことではありません

ません。

更に一步進んで、之に改良を加へるとすれば、成る可く以上の美的長所に觸れぬ部分で、寧ろ科學的設備の方面を改良するのが、最も穩當であり、且つ正しい順序であると考へます。即ち臺所とか洗濯場とか、便所とか、湯殿とかいふ様な部分が、最も先に改良に着手されたのは、全くこの理由に基くのであります。併し時代の進歩は最早此等の實用的又は科學的を主とする部分を離れて、更に精神的方面の修養や慰安を主とする部屋々々に及んで参りました。即ち在來の住宅の一隅に洋風の



が、割合に建築費がかさばる許りで無く、在來の家の外觀と調和を保たせるのが如何にも困難であります。殊に今日は書齋や應接間よりかモット進んで他の居間なり、食事室なり、或は子供室、寢間といふ様に、實際の生活に最も交渉の厚い部屋に及ばぬと、今日では最早改良の意義が無くなつて來たのです。其の結果として普通の座敷を幾分改めて、夫れに椅子や卓子を取り入れて居る。而かも實際の結果に於ては、徒らに歐風にかぶれて、過去の良い所を幾分破壊したり、又は狭い座敷の中に餘りに多くの家具を取り入れ過ぎて、混雑を來たして却つて困つて居られる向も、決して尠なくはありません。此の状態は何うしたら良いでせうか、矢張家具や裝飾に關する一般の智識を得ることが、第一に先決の問題となつて参ります。

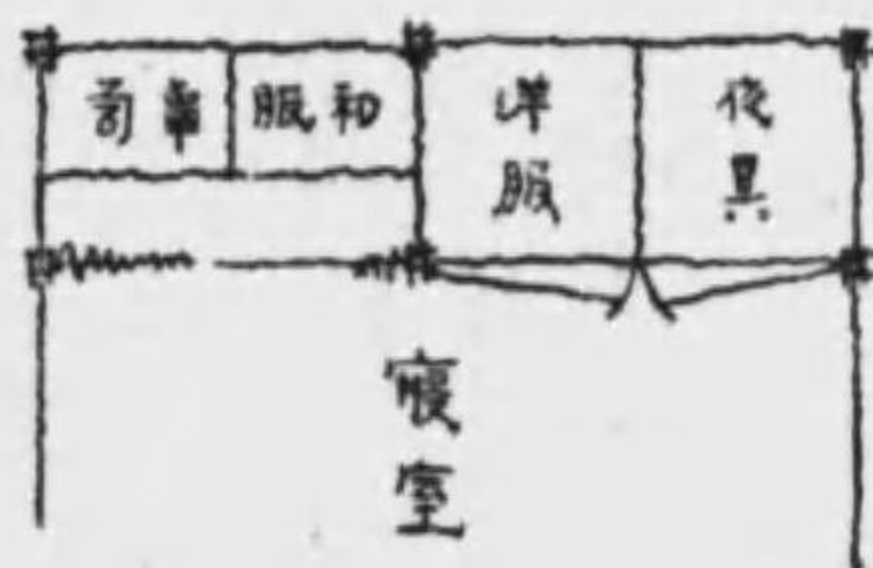
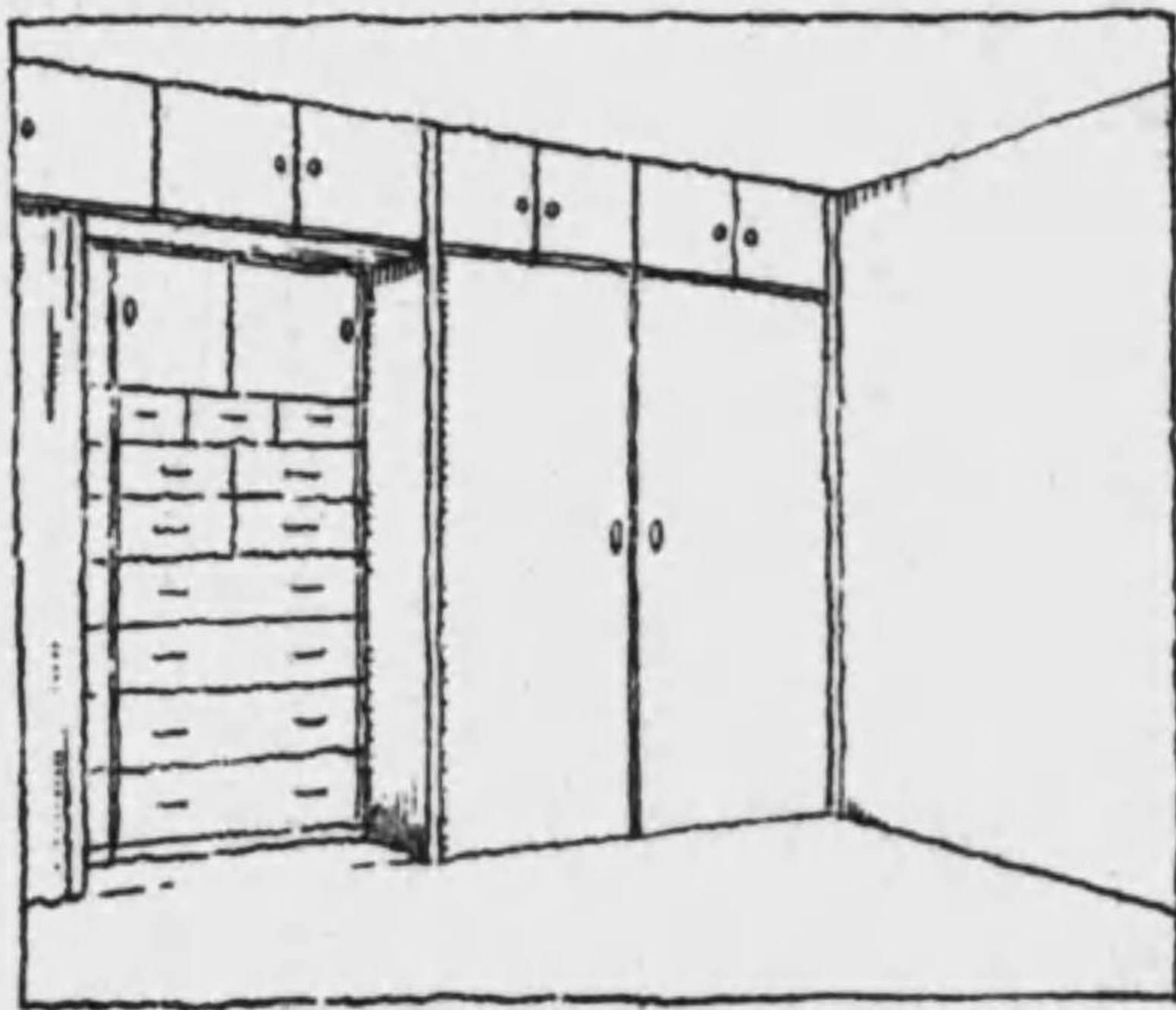
#### 四 押入の改良

在來の日本室内を改良する要件として、私は先づ室内の整頓を第一にいたしたいと思ひ

ます。今日の如く、室内に日常の必需品又は不必要品が亂雑に置かれてある状態では、全く室内裝飾を論じ、之を考慮する資格は少しも無いと申しても、決して過言ではありません。而かも一面に於ては、此等の必需品を整理して所藏すべき押入の内部を見れば、其の設備が極めて放漫で、殆んど大半以上を無駄に費し、徒らに空虚の儘之を放棄して居る始末であります。是は誠に理解し難い大なる矛盾であります。彼の有名な建築家のウヰリアム・モリスは、常に室内には餘計なものを決して置いてはならぬと堅く相戒め、整頓は室内裝飾の根本であると言はれて居りましたが、之は誠に意義のある詞であると思ひます。こゝに於てか、私は室内を整頓する第一の要件を満たす爲に、在來の家に於ける押入の改良を第一に主張いたしたいと思ひます。抑も在來の押入が不備であつた最大の原因は、其の室の目的即ち職能が判然としなかつたからである。過去の住宅に於ける間取上の缺點も、矢張各室の職能が明らかで無かつたといふことに起因したことであらうと思ひます。要するに是からの住宅に於ては、其の間取に於て、家族の者が共同に使用する居間とか食



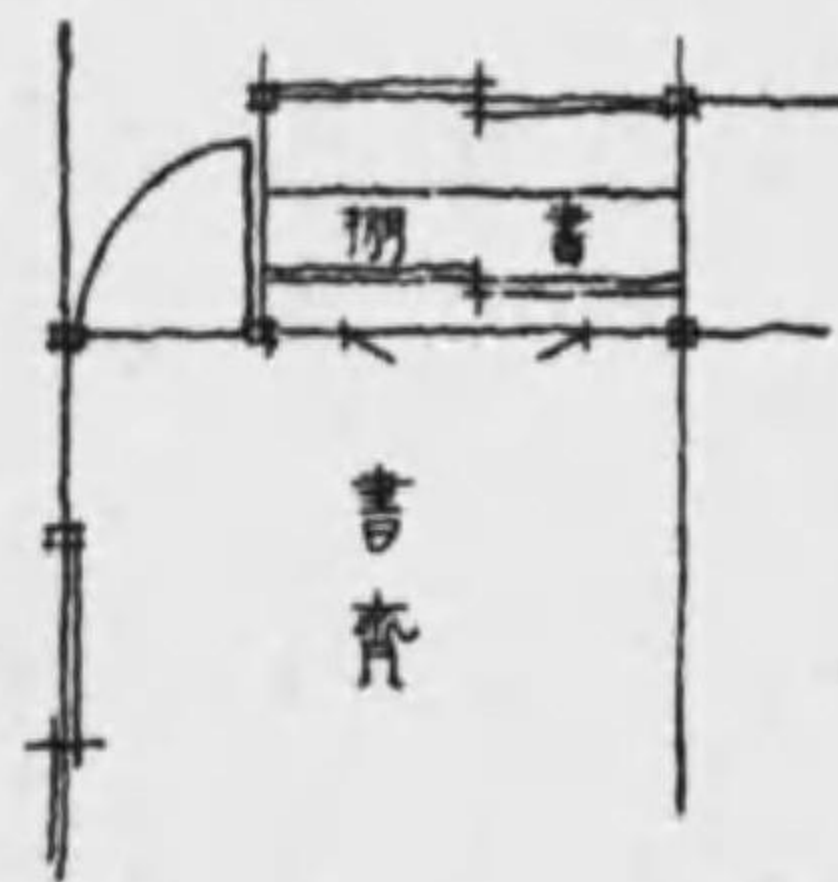
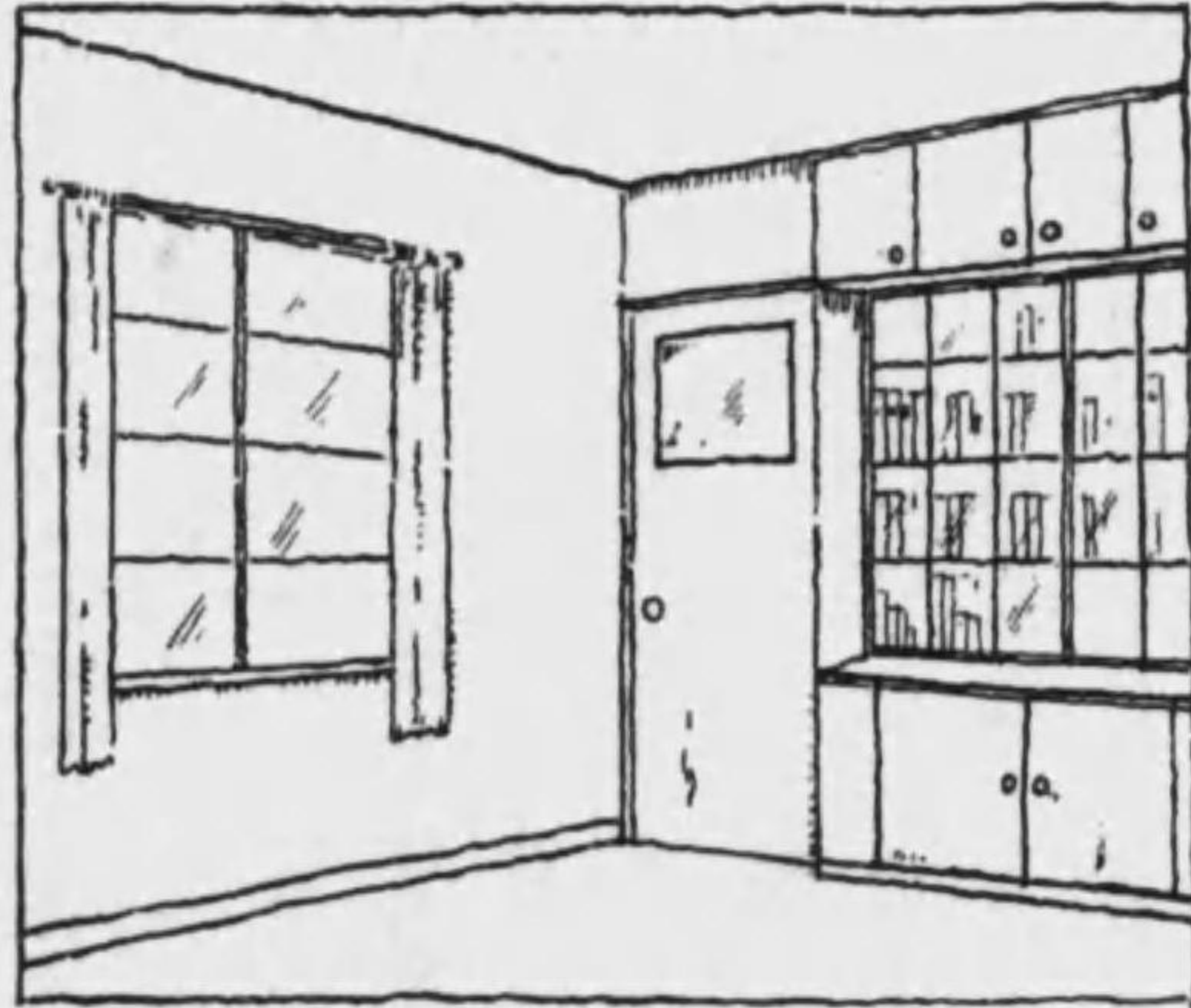
す。要するに是からの家は、家族の誰れでもが、心から家庭生活を満足し、十分に相樂し



改良の押入

然の結果でありませう。殊に家庭に於ける子供の教育のことを考へると、最も痛切に此の必要を感じます。在來の間取では、子供の尊い個性を十分に伸ばすといふ點に就いては、慎重な考慮が頗る缺けて居つたと思ひま

足することは出来ません、必ず家族の人達の個性の伸長に最も必要な自分自身の部屋、即



改良の押入

個性を十分に發揮し得られる様な私的の個人室を設けることが必要となつて参ります。凡て文明が進むと、決して共同の部屋のみで満



むと共に、各自の個性を尊重することをモットウとすることが最も大切である。此の點から住宅の各室を、共用室と専用室に大別して、各室の目的を夫々判然と定めることが最も必要のことです。

茲に各室の目的が定まると、そこで各室内に設ける押入は、夫々其の室に必要な用品の容れ場所として、恰かも之を一つの戸棚と見做して、初めから之を設備することが出来ます。即ちウキリアム・モリスの言はれる様に、先づ其の部屋の必需品を定めて、次に之に相應はしい大きさや細かい設備を施せば良いのです。例へば食事室の押入は之を改良して、食器食料品の戸棚とか、或は配膳棚とすることが出来ます。又寝間の押入は之を改良して、服箆筒とか或は化粧箆筒にすることが出来ます。其他書齋の押入は之を改良して、書棚や飾棚となすことが出来るのです。其他子供室の押入を改良して子供の寝臺とすることなどは、決して困難のことではありません。

## 五 家具の選擇

斯様にして室内の整頓が出来ましたら、第二には之に適當な家具を選擇して、巧みに之を配置することが必要であります。凡て住宅は公共の建物と違つて、其の室内が小さいから、之に入れる家具は成る可く數少くするといふことが肝腎です。不要のものは決して室内に持込んではいけません。虚を避けて實につくといふことは、是れからの家を造らんとする者の最も注意すべき點であります。そして必要な家具類も一層之を吟味して、先づ第一に品質の上等なものを選んで戴きたいのです。粗悪なものは悪趣味を増し、自然飽き易いことは申す迄ありません。而かも家具類は他の靴や帽子の様に、流行を追ふて頻々に取り替へるといふことは中々困難であるから、質の良いものを最初に選ぶといふことが、特に必要の條件であります。

所で此等の家具の意匠に就いては、各部屋の目的に依つて夫々違ひもあるが、要するに



現代の家具としては、時代の精神に良く鑑みて、出来る限り簡単なものが望ましい。凡て是からの世の中は、社会生活が益々複雑となるにつれて、家庭生活に對しては、出来る限り單純化せんとする傾向が、益々著しくなつて來ることは明らかであります。實際吾々の日常生活の経験から考へても、社会生活が複雑になればなるほど、我が家庭生活への要求は、成る可く簡素にして、簡単なものゝ中から美を求めようといふ考へが、愈々多くなつて來るに違ひありません。簡単なものと申しても、決して粗雑な家具を要求するといふ意味ではありません。唯だ外觀の上に簡單清楚のものを要求するといふ意味で、其の品質は前に述べた様に、十分に吟味されたもので無ければならぬことは勿論であります。寧ろ外形が簡單になれば、夫れ丈け多く材料を精選したり、且つ又構造や仕上に深い注意を要しますから、經濟の點から申しますと、必ずしも廉くなる譯には参りません。若し強いて之を廉くしやうとする時は、勢ひ手を省いて品質を低下せしむることになるから、此の點は餘程注意せねばなりません。



六 フランスの家具

安 樂 な 椅 子 と 卓 子

凡て家具の如く、日常の生活に必要な工藝品は、その形と色に重きを置いて、十分に洗練された素朴の感じの中に、亦住宅家具としての柔らか味が望ましいのです。近頃獨逸に於ても、佛蘭西に於ても、或は英國でも、米國でも、凡て此の傾向が著しく増進し、意匠の單純化といふことは、恐らく今日世界に於ける大勢であると申しても差支へありません。



茲に一例として佛蘭西に於ける最近工藝意匠の傾向に就いて、一言申上げて御参考に供したいと思ひます。といふのは、昭和三年の四月上野の東京府美術館で、佛蘭西の現代に最も新しい家具装飾の展覽會が開かれたのであります。

御承知の様に、佛蘭西は千九百二十五年に、巴里で萬國裝飾美術博覽會を開きましたが、其の當時佛國の工藝家は一勢に立つて新しい工藝意匠の運動を試みたのであります。

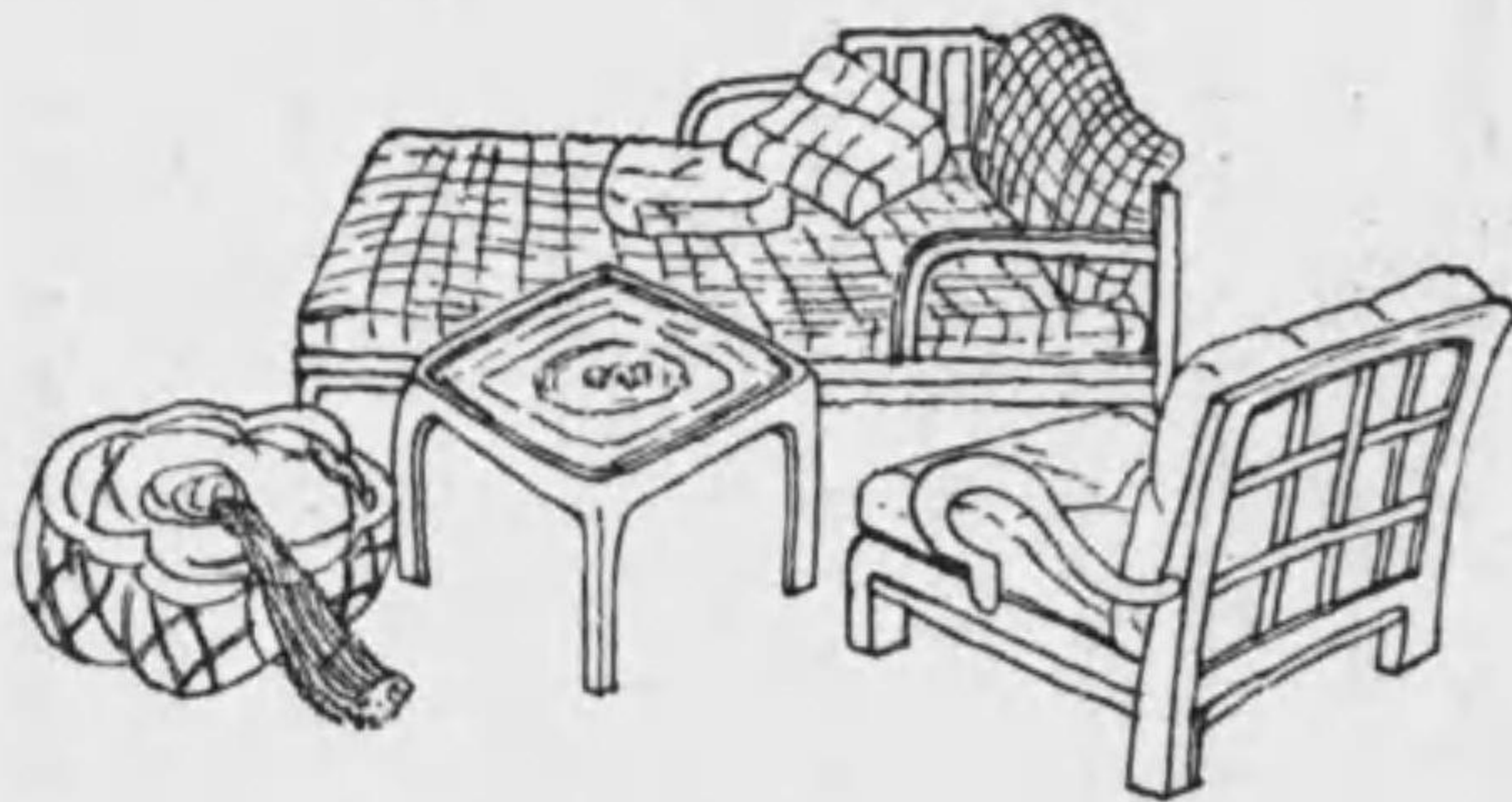
夫れは一言にいふと、從來佛蘭西の最も良い趣味として、上下を通じて喜ばれて居つた、ルイ式の美しい曲線と精巧な彫刻と濃厚な色彩とで仕上られた家具を廢して、之に代ふるに簡單素朴を主潮とする家具を取り入れようとしたのであります。即ち言ひ換へれば、在來の貴族的の趣味から、現代の民衆的な趣味に走らんとしたのである。殊に其の會場の中に、佛國の中流住宅を新設して、其の中に玄關、廣間、居間、食事室、臺所、書齋、寢間、子供室等の各室を設けて、之に悉く一切の家具や工藝品を配して、室内全體の調和といふことを、眼前に味はしめる様にしたことは、最も世人の深い注意を引きつけたのであります。

すが、此等のものが、如何にも現代の生活を基調として、如何にも實際的に而かも合理的に作られた爲に、見る人々をして、誰れでも直ぐにこんな家に住んで見たいといふ心持を起さしめたことは、最も大なる成功であつたと思ひます。而かも此等の意匠について、特に注意すべきことは、其の意匠の資料を概ね東洋殊に我が日本の在來の方形の家具や、低い卓子や、座布團の様なクッション、其他火鉢や、鏡臺、衝立、屏風などの形と、且つ又單純で而かも力のある色彩や、澁い漆の仕上などから着想せられたものであることは、大に注意すべき點であると思ひます。我國では近年其の生活を改善して、座式から椅子式へと宣傳して居る内に、佛蘭西では寧ろ日本の座式に倣つて、椅子や卓子は成る可く低くして、十分に親しみを増さしめんとし、寢臺も亦努めて之を低くして、十分に安眠の目的を達せしめんとして居るのであります。我が住宅を椅子式に改めることは至極よいが、之が内容に對しては、更に大に研究の必要があると思ひます。此の點から見て佛蘭西に於ける工藝意匠の改革などは、大に参考となる事柄であります。



## 七 家具の意匠

家具は眼で見ると計りのものではありません、其處に現實的な目的を有するものであります。従つて之が意匠に就いては、周到な注意が必要です。第一に考へねばならぬことは、何れの室内で如何なる役目を果さしめるかといふことであります。此の用途に適合して日常の使用に便利であるといふことは、家具に對する第一の生命であります。材料に無駄が無く、構造が合理的で、觸つて氣持が良く、其の上價格の安いといふことは、共に大切な要件であります。特に寸法が適當であるか否かといふことは、其の家具の良し悪しに最も影響するものであります。例へば書棚や飾棚は書物や飾品の寸法を標準とし、食器臺や衣服箆筒は、食器や衣服の寸法を基準として、其の大き寸法を定める必要がある。殊に椅子や腰掛、卓子や机、又は寢臺の様に、直接人間の身體を之に觸れて用ふる家具類の設計に對しては、一層慎重に之が寸法を定める必要があります。唯だに大人と子供、或



日本趣味の椅子と卓子

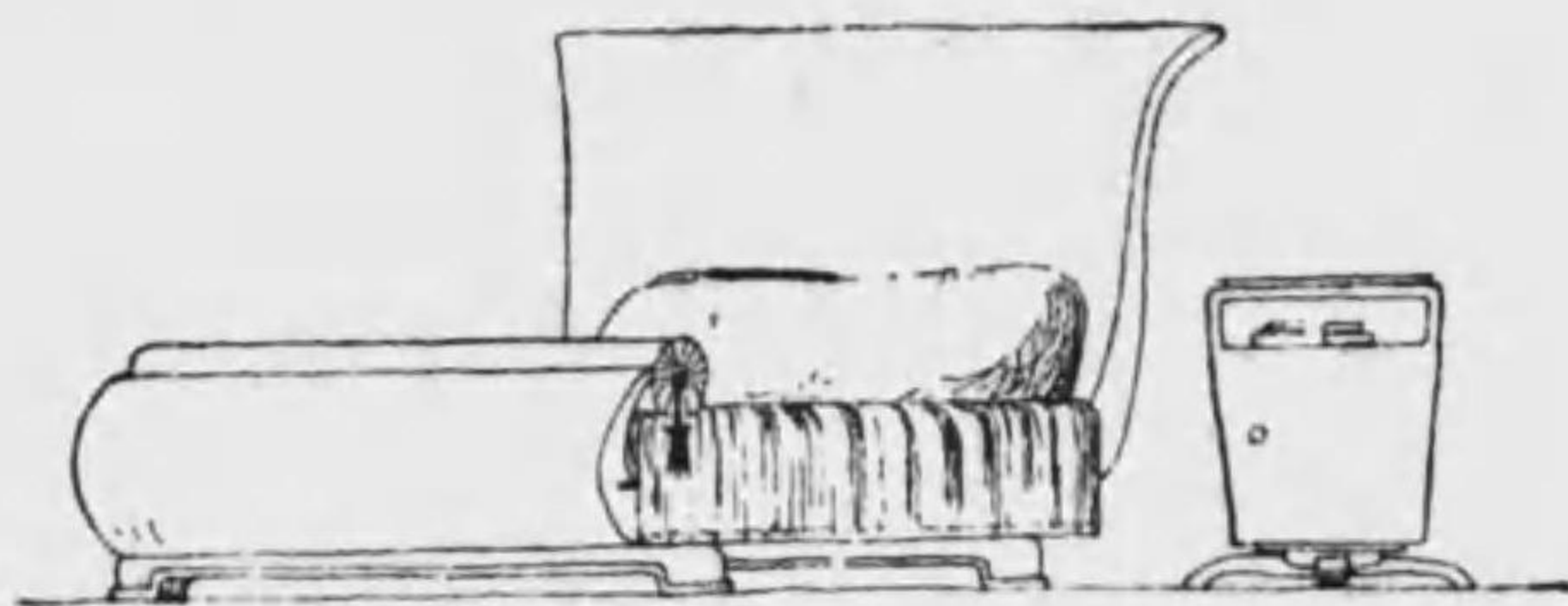
は男子と婦人の相違に因つて、其の寸法を異にする計りで無く、其の室の目的即ち此等の家具の用ひられる場所によつても、亦著しく其の寸法を異にするものであります。

兎角我が國人は、此等の科學的方面の事項に對しては、製作する人も亦之を需要する人々も、頗る之を輕んずる風があります。寸法などは定つたものだと極めて軽く取扱つて居られるが、之は大變な誤りである。科學の研究に常に突進して居る獨逸では、最近椅子や卓子の寸法に就いて、徹底的にその研究を進めて居られます。例へば食事に用ふる椅子は、食事する時の最も正しい姿勢を醫學上から研究して、夫れに適當する



形と寸法を定めるし、又食後の慰安に用ふる椅子に對しては、食後食物の消化に差支えの無い程度に於て、安樂に適當な身體の位置を能く研究して、それからその椅子の形と寸法を定めるのです。そして之が全體の形に對する設計は、強さに對して合理的の構造法に依つて、出来る限り材料を經濟的に使用して、最も堅牢に且つ輕快に仕上げると、其處に自然的に極めて美しい安定の形が出来上がるといふのでありますが、大に参考とすべき點があると思ひます。

要するに椅子や卓子の寸法に就いては、客の應接を目的とするものと、讀書や思索を目的とするものと、更に慰安や休息を目的とするものとは、其處に夫々寸法を異にして作らねばなりません。假りに之を疊式の生活に例へて見ると、應接間や書齋は概ね行儀を正しくして座つて居る所であるが、居間や寢間になると、自由に打ち寛ろいで休む所であり、一。従つて家具の意匠に對しても、決して此の心持を忘れてはならない筈であります。一般に高さの低い椅子やテーブルは、安定の感じを與へるものであるから、安樂を目的とす



落 付 の 良 い 寢 間

る居間や寢間の椅子とテーブルは、嚴格を目的とする應接間や書齋の椅子とテーブルに比較して、遙かに低くする必要がありません。要するに、身體を接觸して日常頻々に用ふる家具類は、其の寸法が身體にシツクリと合つて、且つその室内の氣分を現はすに相應はしくすることが必要である。同時に亦外觀の品位を損は無い限り、成る可く木割を細くして、出来る丈け輕く作り、且つ其の構造を努めて堅牢にして日常の取扱ひを便利にすることが、家具の意匠に對する最も必要の條件であります。

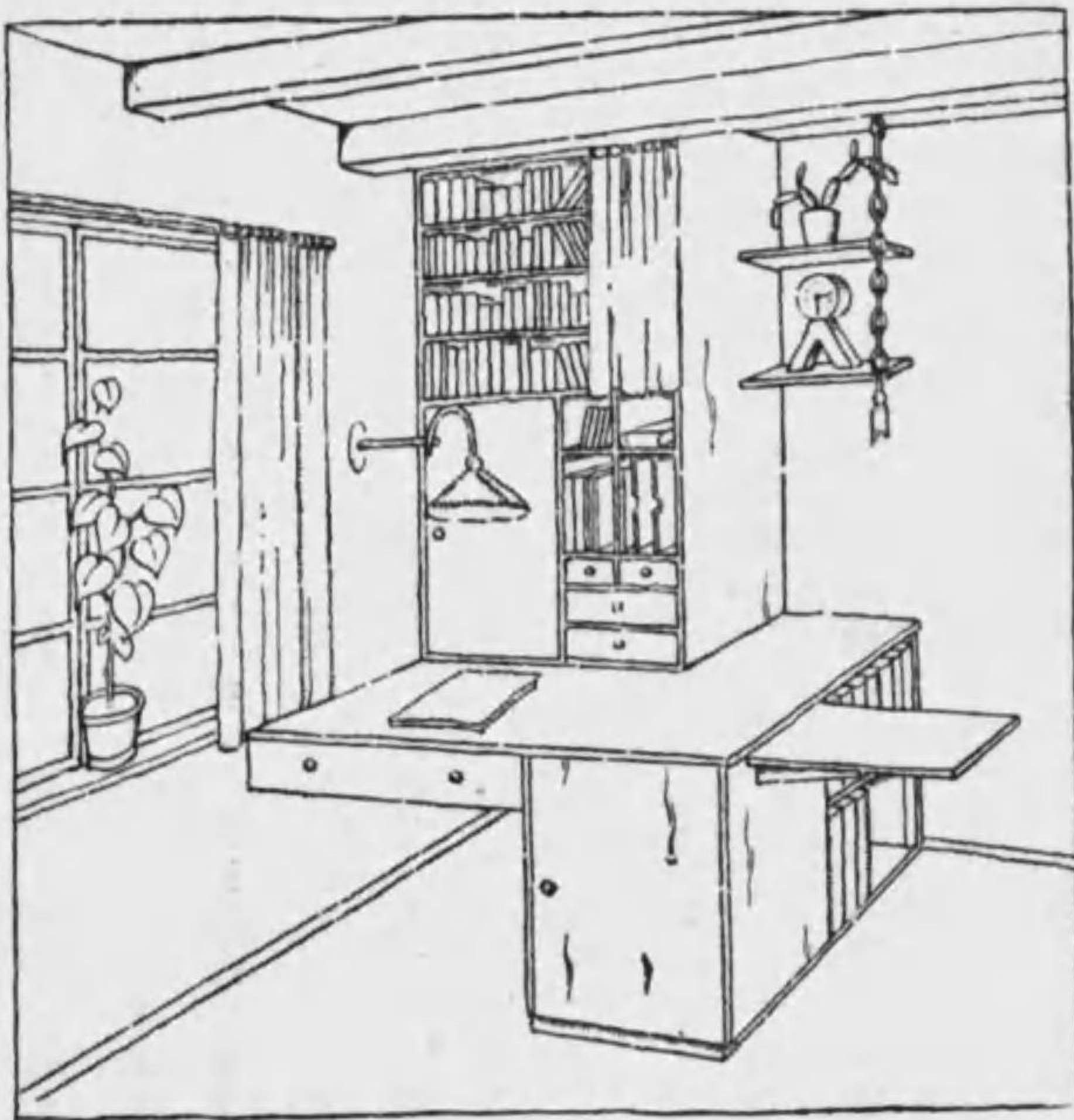
## 八 造 附 の 家 具

若し割合に狭い一室を二つ以上の用途に充てやうとする時は、自然家具の種類と數量を増加して、夫れが爲に室内が頗る混



雑したり、又毎日の生活に甚だしく不便を感じることは明らかであります。此に於て狭い室内に割合に多くの家具を取り入れて而かも混雑の感じを起さしめず、且つ實際の使用に便利で、常に氣持良く生活せしめんとする爲には、更に之が意匠に就いて注意を要するところがあります。

凡て床面の狭い室内では、成る可く部屋の隅か若しくは窓際を利用することゝ、殊にその壁面を巧みに利用することは、之が意匠に於て全く閑却してならぬ大切のことでありませぬ。従つて壁面に其の位置を固定して差支えの無い家具類は、恰かも前に述べた押入を、各部屋専用の戸棚に改めるのと同様に、最初から家屋に直接造り付けとして設備した方が、遙かに経済的で、且つ外觀の體裁も良くなつて参ります。獨り戸棚や箆笥計りではありません。假令卓子や椅子類でも、常に窓際に固定して差支えの無いものは、努めて之を造り付けとし、其の壁面を巧みに利用して、床面に出来る丈け多くの空地を存することが必要であります。我が在來の家屋では、其の室内の壁面積が如何にも尠なかつた關係から、此



造 附 の 机 と 書 棚

の部分に對して頗る軽く考へて居つた傾きがあります。小形の飾棚や本棚は、之を壁掛けとして装置するのも便利です。又化粧や洗面用の品物を容れる棚などは、之を壁の中に作り込みとして設備することも、決して困難のことではありません。

一體部屋の真中に行儀正しく家具を配置する行り方



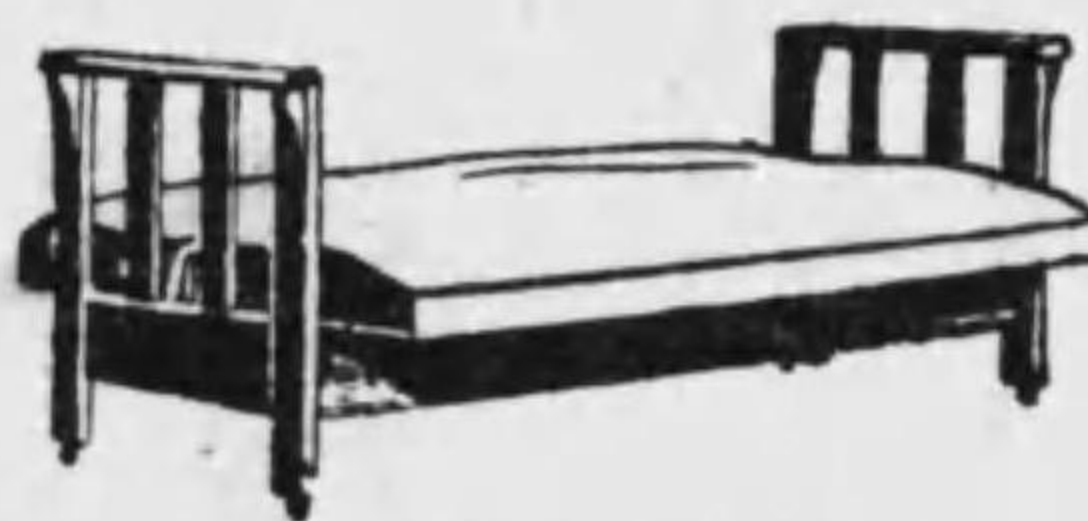
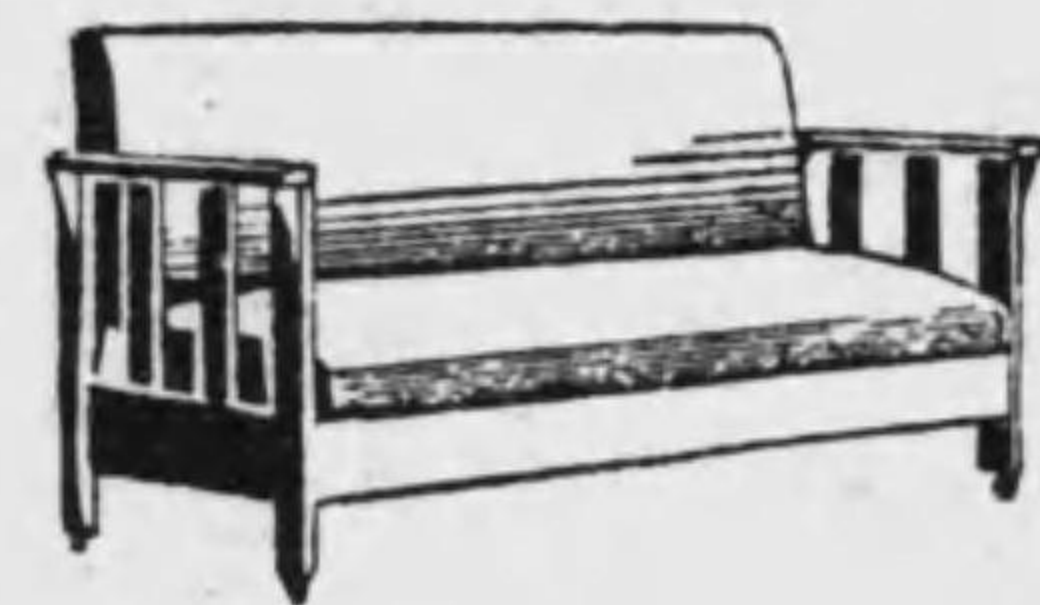
は住宅としては如何にも味ひが尠なく、而かも室内の四隅や壁面を全く閑却したものである。家具を建物に取付けるといふことは、決して新らしいことではありません。我が在來の住宅では、箆笥や佛壇を巧みに押入に嵌め込んで居ります。殊に床脇棚や書院の如き部分分は、之を一種の造り付けの家具と見ても差支えありません。而かも我が在來の建築としては、最も鍛練せられた場所であります。凡て此の筆法を用ふると、更に椅子式の家具を建築に取付けて、之を室内に調和せしめることなどは、決して困難のことではありません。之を要するに、室内の家具類は、恰かも柱や長押などと共に、悉く一つの木の塊から彫り出された様なシヅクリとした調和と、溫和な落付とが大切であります。此の點から考へても、在來の建築に床脇棚や書院を造り付けにしたのと同じ様に、建築に家具を造り付けとすることは、之を室内に良く調和せしめて、落付かせる上から考へても、甚だ賢明なやり方であると思ひます。

### 九 兼用の家具

以上の方法に則つて家具を製作し、且つ之を室内に配置して、尙ほ室内の混雜を來す恐れがある時は、更に其の根本に遡つて、家具の數量を適度に減するより外致し方がありません。だが生活に必要な家具類を、徒らに減少するといふことは、實際許されないことです。そこで必要の家具の中に就いて、その二つ若しくは三つ以上の家具を最も巧みに結びつけ、之を一つの家具に取纏めて、巧みに兼用せしむることが必要となつて参ります。或は又使はない折は、之を折り疊みとして取片付けられる設計とすることも亦良い方法であります。例へば玄關で用ふる履物戸棚と洋傘と洋杖立とは、之を兼用に作ることが出来ませす。或は之に長腰掛も植木鉢臺迄も兼ねしめて設計することも、決して困難ではありません。のみならず之が爲に其の設備費を軽減したり、殊に床面積の經濟から見ても頗る有効の方法であると思ひます。



以上の外、居間で用ふる安樂椅子に寢椅子を兼ねしめたり、ソファーに臨時來客の折の寢臺を兼ねしめたりすることも、至極便利なやり方であります。又小さい寢間で用ふる化粧卓子と書記卓子の如きも、之を別々に造るよりか、更に兼用にした方が、却つて便利となつて参ります。尙ほ日常頻々に使用する卓子は、平素は成る可く之を小さくして使用し、必要に應じて其の甲板の大きさを伸長し得る設計とし、又は折疊みの装置として、使用しない時は全然他の場所へ取片付けて置かれる様に設計することも、實際生活には極めて大切のことです。其他



寢臺を兼ねた長椅子

各室の椅子の意匠を餘りに變へず、必要な人數集合の折は之を寄せ集めて使用するに便利にしたり、或は安樂椅子に四角の腰掛を添へて立所に寢椅子の形にするなど、種々考案

を巡らすと日常生活に不便を與へないで、家具の數量を減ずる方法は色々ありませう。要するに、以上の様な方法で、實際生活に便利な家具を設計し、殊に目的の室内に配置して、最も良い調和を保たせる様に工風すれば、割合に尠ない家具で、客間は客間らしく居間は居間らしく、寢間は寢間らしく、極めて便利に而かも氣持良く、其の室内を取り纏めることが出来るのであります。

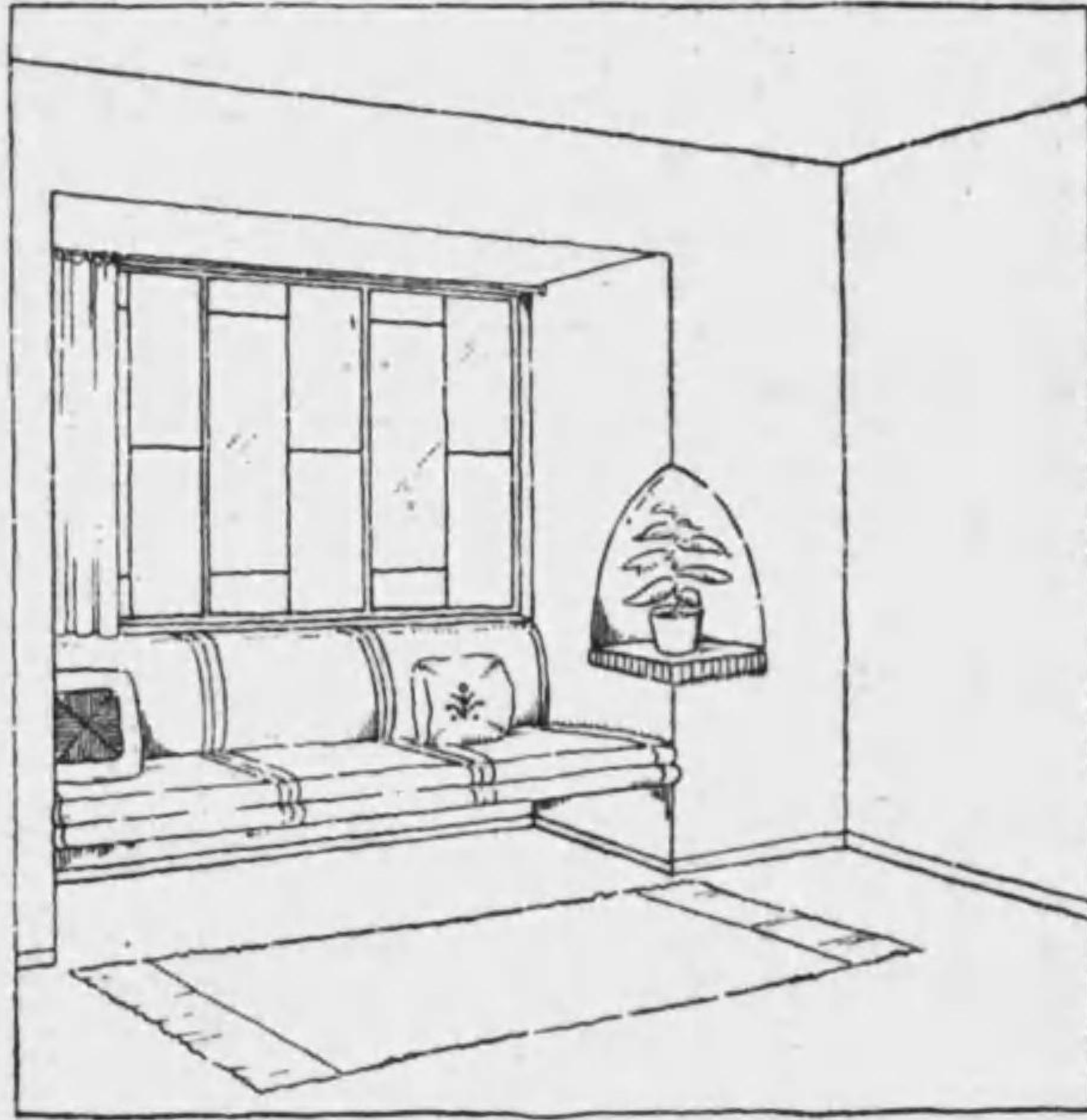
### 一〇 室内の整頓

以上述べた方法で家具を改良すれば、其の室内の混雜に流れることを防ぐことが出来ませんが、更に進んで其の室内を一層廣々とせしむる爲には、其處に又色々な方法があります。即ち第一には室内を横側と連絡する爲に、横側の床の厚さを室内と同じにして、之に又同じ敷物を敷き込んだり、或は又横側の一部分を外に巾を擴げてヴェランダとなし、之に全部硝子戸を建て廻はすことであります。すると室内と外の景色とが最も良く連絡して、著しく



其の室内は廣くなつて参ります。又前にも述べた様に、窓の下を低く床迄伸ばして、恰かも我が在來の座敷と椽側の境ひの障子の様になると、光線を足元迄も導くことが出来て、非常に住宅としての親し味を増して参ります。若し之を窓の形式にするとしても、高さは一尺二寸位の極めて低い肘掛窓となし、且つ之を出窓の形式にすると一層有効であります。そして此處に植木鉢とか、鳥籠とか、或は金魚鉢でも載せて置くと、外庭との連絡が一層良くなつて参ります。それから前に述べた在來の押入も、若しその室に不要であつたら、寧ろ之を撤廢して、悉く之を開け放つと、それ丈け多く室内の面積を増す計りで無く、室内の形にも變化がついて一層の趣きを増して参ります。若し此の部分をアルコーヴ（凹んだ所）にでもすれば、冬の暖房を装置するに最も良い場所となります。或は此處に窓を設けて、長椅子でも配置すると、一層奥床しい落ち付いた場所が得られます。

以上の方法で、其の室内に所要の家具を配置して、而かも其の室内を十分に擴くすることが出来ませんが、併し複雑な家庭生活は、必ずしも常に廣々とした快活な部屋計りを望む



窓 前 の 長 腰 掛

ものではありません。時には書齋の様に讀書や思索の爲に十分に落ち付くことも必要であるし、或は又玄關や廣間の様に十分に奥床しくすることを要するものもあります。

其他食事室といひ、居間といひ、寢間といひ、子供室といひ、皆夫々その目的に對する獨特の要求を持つて居ります。此に於てか、兎角北側の陰氣の部屋を陽氣にしたり、



陽氣の部屋を陰氣にしたり、暗い部屋を明るくしたり、又明るい部屋を暗くしたり、其他夏は涼しそうに、冬は暖かそうにといふ様に、其の室内を様々の情緒に自由に變へしむるといふことが極めて必要であります。此の技術が即ち室内の裝飾であります。

### 一一 室内の裝飾

一體室内裝飾などいふと、言葉が少し適當で無いせいか、世の中の人々は稍々もすると之を誤解して、唯だ徒らに室内に貴重な珍らしいものを澤山に飾り立てることの様考へて居られますが、是は大變な間違ひであります。勿論之も裝飾の一つの手段には相違無いが、決して之が根本の條件ではありません。寧ろ枝葉の問題であります。尤も過去の經濟に餘り束縛の無かつた時代には、斯うした方法で十分立派に飾り立てることも必要であつたでせう。併し今日の時代に之を其の儘當て嵌めることは、全く時代錯誤の甚だしいものであります。立派に飾り立てるには、多くの費用を要しますが、唯だ氣持良くするだけな

らば、必ずしも多くの費用は要しません。却つて夫れに依つて、多くの親し味を感じます。時代と其の人の境遇、殊に經濟と趣味に適合しないものに對しては、何等の親し味を感じる道理はありません。何處迄も現代に相應はしい、殊に實際生活に即せしめるといふことが、最も肝腎の要件であります。

之を要するに、今日の時代精神に良く順應して、實用上の目的を踏み外づさずに、適當に美を發揮せしめてゆく精神に出たものが、所謂現代の裝飾であります。若し之に反して、一つに美の目的を達する爲にのみ力を用ふることは、決して健全なものとは言へません。即ち何處迄も裝飾の爲の裝飾で無く、實用上無くてならないものが、自然に裝飾として現はれるといふことが、眞に現代に於ける裝飾の理想であります。そこで室内裝飾といふことを、最も簡單に言ひ現はすならば、或る藝術的の意匠を以て、其の室内の氣分即ち調子や情味を巧みに整えて、如何にも氣持良くすることであるといひ得られると思ひます。何うしても住宅の室内は、實用を重んずる中に、又高尚で優雅な趣きが無くしてはなりません。



若し之に反し徒らに粗野に流れて無趣味に失することは、未開の表徴で文明國人の生活としては、最も卑しむべきことであります。

茲に此の裝飾に就いて、最も注意すべきことは、此等の裝飾は、何處迄も生活者自身が自分の趣味に立脚してやるべきことで、決して之を他人に任かして置くべきもので無いこととであります。自ら進んで夫れを取扱ふ所に趣味の向上があり、家庭生活の楽しみもあるのであります。此の點は特に御婦人方に注意して載かねばなりません。尤も此等の趣味は、外來の文化や趣味に影響されて、その人々の思想が變つて來ると同時に、此等の趣味も亦變つて參ります。殊に近頃の様には西洋の文化がドシ／＼と浸入して來ると、著しくその影響を受けて、我が國民の趣味も亦變化して來ることは、勢ひ免かれぬことでありますが、併し前にも述べた民族的の趣味、即ち我が國民性といふものが變らぬからには、如何に外來の刺戟を受けても、そこに矢張日本人としての特質は決して失はれるものではありません。従つて全然外國の模倣をするといふことは、元より之を許さない。何處迄も日本人と

しての民族的の特徵を發揮しながら、自己の偽らない判断によつて、外國の長所を取り、常に新時代の生活に觸れてゆくといふことが、自己の生活を向上せしむる最も肝腎の點であると共に、世界人類生活の進歩向上に貢献する所以であると思ひます。

前にも述べた様に、幾多の尊い特色を有つ我が在來の室内も、簡單清楚といふ點から見れば如何にも良いが、併し居間も、客間も、或は寢間も、子供室も、殆ど變りの無い現在の裝飾では、其處に其の室内の機能を十分に徹底せしむることの出來ぬ缺點のあることは、誰れしも良くお認めのことと思ひます。既に各室の目的が明らかに定つた上は、其の室内の目的に最も相應はしい情味を整へることに苦心せねばなりません。

## 二 室内の色調

抑も室内に於ては家具を中心として、壁と床と天井の三つが、カーテンやカーペットと互に相俟つて、之が背景となり、美術工藝品や、電燈具等が、一切之に配せられて前景とな



り、此等のものが一室内に最も巧みに配合せられて、恰かも一つの美術品を眺むる様な調和を保つ時に、初めて室全體としての総合的美観が成立し、其處に色々の情緒が現はれて来るものでありますが、就中色彩が其の結果に及す影響は、最も大きいものであります。凡て色彩は其の種類に依つて、夫々特有の感動性を有して、夫れが直覺的に著るしい感動を與ふるものでありますが、此の點は室内を裝飾せんとする者の、常に考慮せねばならぬ點であります。例へば吾人が濃い赤色のダリヤの花を見た時と、白色の百合の花を見た時との感じは著しく違ひますが、一般に赤味の多いものは、感情を興奮させて、極めて元氣に富んで居りますが、之に反して青味の多いものは、心を沈靜に導いて、十分に落ちつかしめるには有効であります。そして此等の色は亦其の材料特有の質と共に、吾々の眼に直覺することを忘れてはなりません。例へば木材で檜や鹽地の木質は、其の木孔が粗大で、如何にも強い男性的の感じがありますが、之に反して櫻や楓の木質は、木孔が極めて緻密で、如何にも軟かな女性的の感じがいたします。又椅子張の材料に就いても、織り目

の荒い綿純子と、軟かい毛のヴェルベットとは、其の感じの上に著しい相違を生じます。其他草織の荒いカーベットと、柔かい毛の絨氈に於ても、亦全く反對の感じが生じます。斯様に室内に用ひられる家具を初め、壁紙でも、カーテンでも、カーベットでも、悉く其の材質と必ず相俟つて、著しく人々の感情を支配する特有の力を生ずるものである。のみならず、晝の光線と夜の電燈とは、此等の感覺の上に更に深い影響を與へるものであります。茲に色の性質と其の調和に就いて、更に考へて見たいと思ひます。一般に寒色で且つ濃いものは、兎角室内を陰性にし、其の室内を狭く見せしめますが、落ち付の點は極めて良いのです。従つて最も落ち付を必要とする書齋などは、在來の日本壁では殊に鼠色の砂壁が最も良く適當し、洋風の壁紙では比較的黒味に富んだ緑色か、或はコバルト色などが最も相應はしいと思ひます。亦之に反して暖色で且つ淡色のものは、如何にも陽氣で其の室内を廣々と見せしめますが、落ち付の點は宜しくないので。従つて愉快的團樂を主とする居間などには、最も良く適當いたします。



そこで割合に狭い室内を廣々と快活に見せしめるには、第一に成る可く窓を多くすることが必要である。そして次に室内の壁や家具に暖色で無地に近い淡色を用ふると効果があります。若し電燈の笠や椅子のクッション又は其他の小さい工藝品に、寒色を選んで變化をつければ、決して單調に失し過ぎる恐れはありません。又之に反して外界の刺戟を絶つて十分靜かに落ち付かせるには、成る可く窓を尠なくし、そして壁や家具の色に寒色で割合に暗色を帯びた地味なものを用ふると効果があります。若し之が爲に淋しさを感じる様なら、前と同じ様にクッションや其他のものに暖色を用ふれば、良く調和いたします。之を要するに、部屋が大きければ、壁と家具の色合に互に反對の強い色を用ひて調和を取ると良いのですが、部屋が小さいと、其の色を淺く且つ接近させて調和を取るのが最も良いのです。若し之に反して小さい部屋に餘り強い反對の色を多く用ふると、室内が狭苦しくなり、又大きい室内に同じ淡色のみを用ふると、餘りに統一が過ぎて淋しい感じがいたします。何れにしても大きい部屋は細かに取扱つて色數も多くし、小さい部屋は粗く取

扱つて色數を少くするのが一般の原則であります。そして此の要領は冬の室内よりか、暑くつて總ての神經が鋭敏に作用する夏の室内に於て一層必要であります。

斯様にして、此等相互の調節は、椅子の背掛や、テーブルのセンター、其他クッションのカバー又は壁紙や、カーテン、カーペット、殊に夜は電燈のシェード等に依つて、行ふのであります。此等のものは悉く家庭の手藝品として出来るもので、全く一家の主婦の取扱ふべきものであります。此の如く自ら作つた手藝品を用ひ、自分の趣味に立脚して、自由な室を裝飾する所に、家庭生活として最も尊い使命が存在して居ることを忘れてはなりません。是から壁紙と、カーテンと、カーペットと、更に電燈のことに就いて、今少し細かにお話申上げて置きたいと思ひます。

### 一三 ウォールペーパー

壁紙は室内の内、最も廣い面積を占めるものであるから、其の室内全體の感じの上に及



す影響は極めて大きく、殊に家具や電燈具其他色々の工藝品の背景となる爲に、其の選び方の如何に因つて、其の室内を生かしたり、又は殺したりするもので、室内裝飾上非常に大切なものであります。壁紙を張り上げた時、如何にも引立たないので失敗したかと思つても、夫れに家具を入れたり、窓掛等を取付けて見ると、急に調子が變つて、俄かに引立つて来たといふ例は良くあることである。之を選択する時、小さい見本で見た時と、實際に室内に張り上げた後とは、又非常に違つて來ることも、豫め心得て置かねばなりません。即ち見る時の見本の大きさの差と、距離の違ひと、殊に室に因つて明るい部屋と、薄暗い部屋、又は北窓の光線と南窓の光線、晝の光線と夜の光線、電燈の光と瓦斯燈の光などの違ひによつて、非常に異なるものであります。従つて此等の缺點に陥らない爲には、極めて深い注意と相當の熟練を要します。

斯様にして、壁紙を選択するに當つて最も大切なことは、第一に家具の色、それから窓掛や床の敷物の色、天井の色を豫め考へて、相互ひの調和をはかることが必要であります。

就中家具の色とカーテンの色に對しては、最も深く考へねばなりません。即ち天井の色は兎角薄いものを用ふるし、床の敷物は後から調和を取ることが出來ますが、壁の色は、漆喰壁にしても又は壁紙にしても、後で手軽に直すことが出來ないからであります。次に壁紙を選択する場合の注意と更に之を用ふ場合の注意とを擧げて、御參老に供したいと思ひます。

**選擇上の注意** 凡て紫色や革色又はコバルト色などは、夜間電燈の光を受けた場合には、概ね黒味を帯びて頗る落付いた色に變るものである。

又白色は室内を明るくする上に最も有効である。併し之に少し赤味又は黄味を加えないと、幾分青味に傾く氣味がある。表面に凹凸があつたり、又は粗造の面を有する壁紙は、壁に厚みを見せるが、兎角光に影を生じたり、又光を吸収して、頗る光の能率を減ずるものである。

天井が低い時は、堅縞のものを用ふると幾分高く見せ、又天井が高過る時は、横縞のも



のを用ふると低く見せるものである。

餘り大形の紋様は、室内に不正確の感を起さしめるものである。概して大きい室内には大きな紋様を選び、小さい室内には小さい紋様を選ぶのが一般である。餘り繪畫的のものは、家具の無い室内には良いが、多くの家具や額縁其他の工藝品が置かれる室内には、却つて之が爲に調子を破ることがある。

若し戸を開いた時、他の室内が同時に見える時は、之等各室の色が互に調和を保つことが必要である。

**施行上の注意** 凡て紋様のある壁紙は、必ず巾繼に於て、その紋様を合はせねばならない。従つて壁紙の分量は大體一割位の餘分を見る必要がある。

壁の下地としては、漆喰塗が最も良い。但し漆喰が十分に良く乾いた上で無いと、壁紙にシミを生ずることがある。

下張としては、普通第一にベタ張と稱へて糊を一面につけて張る。第二に袋張と稱へて

紙の端にのみ糊付けをして張りつける。凡そ二回張として、此の上に壁紙をベタ張とするのである。

壁紙の繼ぎ目は、窓の方向に向つて張つてゆくのが一般である。さうしないと、繼ぎ目に影が生じて、張り上げた後の外觀が見悪くなるものである。尤も壁紙が厚い時には、重ね繼ぎで無く、突き付けとして張りつける。

壁紙と柱や巾木又は天井竿縁との見切には、四分圓の押縁か又は撚紐を當てること一般である。尤も上等の仕事には全然之を用ひない。

壁紙には無地のものもあれば、紋様付のものもあり、或は着色したものもあれば、時には薄肉に凹凸を付けたものもある。殊に最近では砂紙や、ラシヤ紙其他絹紙の様なものがあり、何れも印刷されたもので、その印刷には機械刷と、手刷とあるが、手刷の方が一般に上等で値も高い。

紙の大きさには種々あるが、普通英國製のもの、巾二十一吋、丈け十二碼、即ち約六十



三平方呎(一坪と四分の三)の壁面積を張る分量を一巻とし、佛國製のものは、巾十八吋、丈九碼、即ち四十五平方呎(一坪と九二)を一巻として居る。

#### 一四 カーテン

窓掛は窓から射入する強い光線を制限したり、且つ適當に之を色取りして、その室内の氣分を暖かくしたり、涼しくしたり、陽氣にしたり、陰氣にしたりする爲に用ふるものがあります。亦一面には之に依つて夏の暑さや、冬の寒さを防ぐ助となることは申迄もありません。昔は頗る重い織物を之に用ひたが、近來は大變に變つて、却つて薄地のものを用ひられ、その室内が遙かに軽い氣持を表はす様になりました。

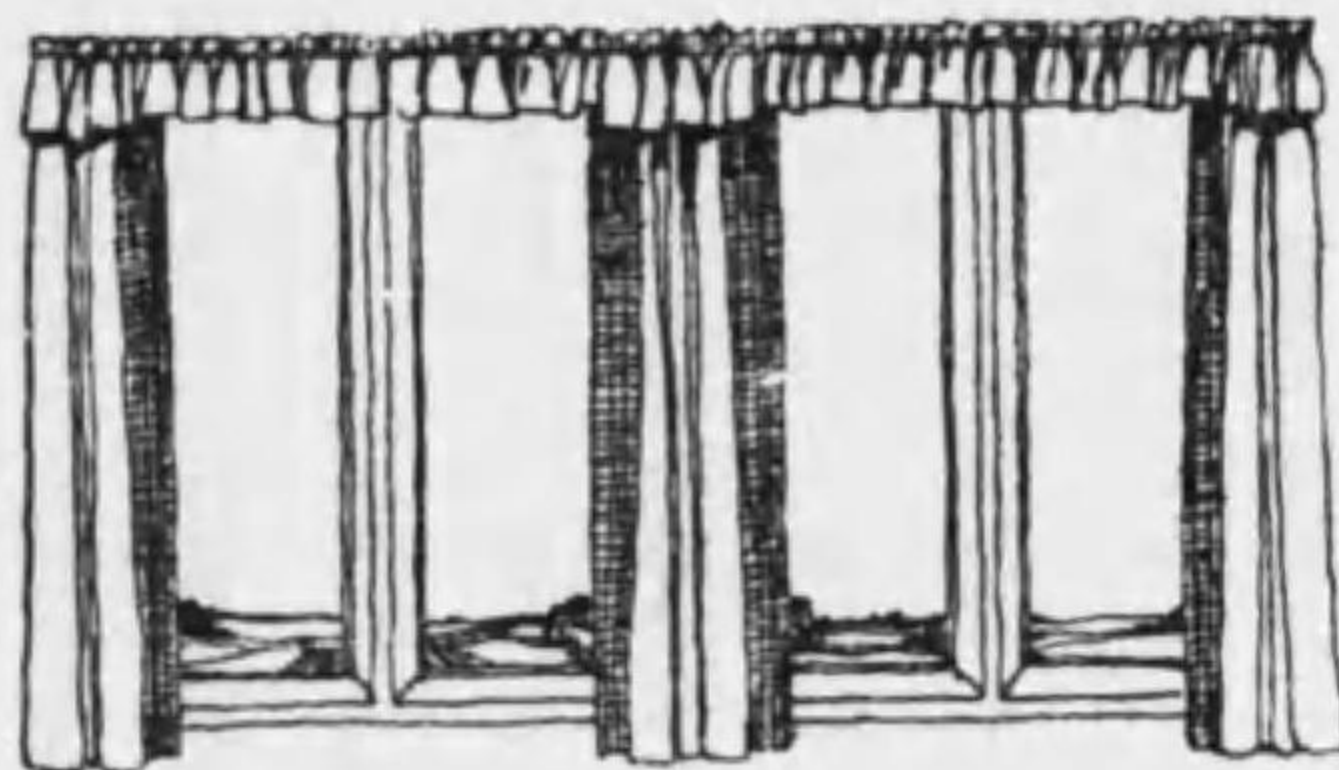
今一つの窓に用ふる窓飾を細かに分けて見ると、一番外に日除の目的でホロとブラインドを取附ける。普通ホロには丈夫の木綿の白地に、青や、赤、コバルト、黒などの荒い縞を現はしたものを用ひ、恰かも人力車のホロと同じ様な形に作つて、開閉自在に取附け

るのです、又ブラインドは普通クリーム色や、茶色、時には緑色などで特別に作られた裂れ地を細い丸棒に巻き付けて、之にスプリングを取附け、紐によつて自動的に巻込自在とするものである。或は此の裂れ地にキヤロ布を用ひて、之に油繪具で面白い紋様を畫いても良い。此の場合スプリングを用ふることは賢明のやり方であります。

次にカーテンとして、硝子に接してレースを用ふるのが一般であるが、恰かも在來の簾に相當するもので、外の光線を適當に制限したり、且つ之に色取りする上に有効であります。尤も之は夏の季節丈け用ひて、冬は略することもある。レースカーテンの取附け方は、普通直徑三四分のパイプを適當の持送で取附け、之にカーテンを圓環か鈎で取附ける。そして普通白色の木綿の帯房で之を房金物に引掛けるのである。又引分用の紐は、引分車に依つて極めて支障なくそのカーテンを開閉することが出来るのです。

レースの種類には、細いものや粗いもの、又は無地のものや紋様を織り出したものなどがあります。色は概して白色のものが多く、亦全體を薄い灰色や水色、其他綠色、黄色、





二連窓のカーテン

バラ色、アツキ色、茶色などに染めたものもあります。又部分的に紋様を他の色で染め出したものもあります。尙ほ縁にフレンチを付けることも一般に行はれて居ります。近頃ネットレースと稱へて、少々太い糸を荒目に編んだものは、恰かも我國の簾に最も良く似て、夏の室内には極く相應はしいと思ひます。之に反して紗の様な細かい無地のレースに、特に氣の利いた意匠で或る紋様を縫ひ出すと、非常に柔か味があつて、冬の室内などには頗る調和するものであります。或は又日本の夏の紹の無地に、色違ひの羽二重のヒダを付けてボーダーの代りにすると、極めて氣の利いたものが出来ます。或は十八世紀頃の西洋婦人の服の裾に見る様な幾段かのヒダを取つたものも、夫人室や化粧室には良いと思ひます。

尙ほヴェランダ其他大形の窓には、此のレースカーテンの代りに、薄絹か羽二重或は薄

手のポプリンの様な裂れ地で、上にヒダを作つて、上の方に引き上げる仕掛けとするが、之も同じく引上車と紐を用ひて上げ下げするのであります。

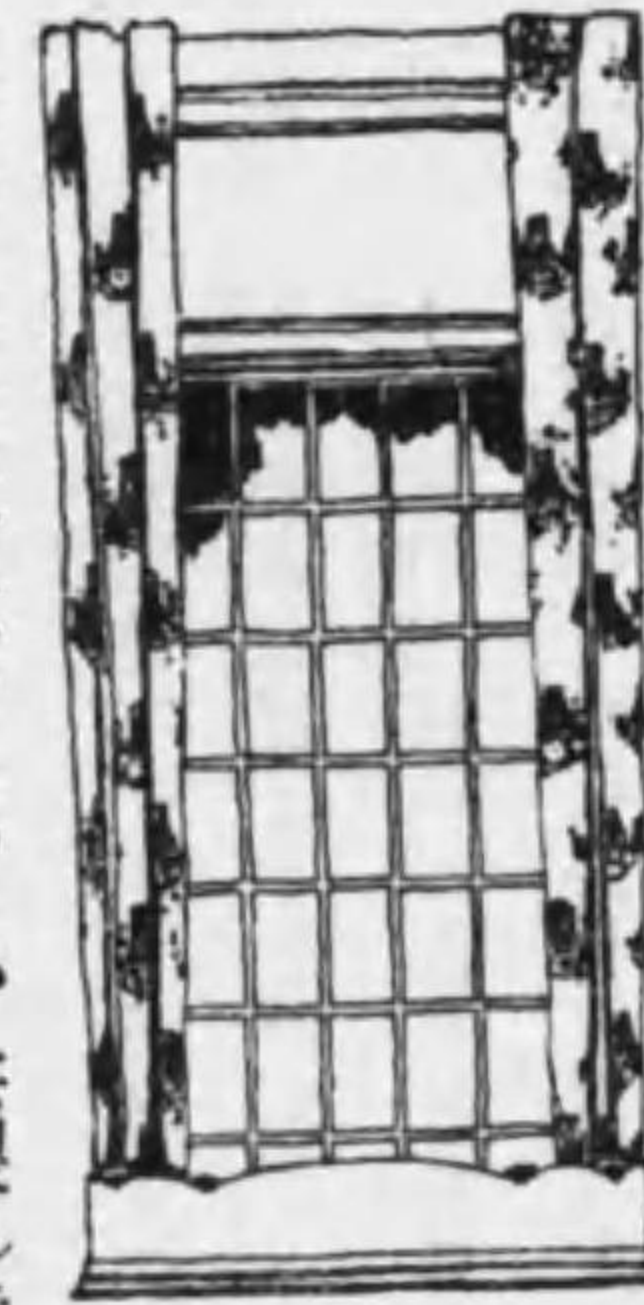
普通のカーテンは、左右か又は一方に引分けとして取附けるのであるが、之に用ふるカーテンロッドには、直径五分以上八分の眞鍮製パイプを用ひ、丸環を之に通してカーテンを之に取附けるのである。但しパイプが割合に長くて且つカーテンの地質が重いと、パイプを途中で上に釣らねばなりません。

此のカーテンの地質には色々ありますが、若し外にブラインドを用ひない時は、日光を遮る丈けの厚さのものを要します。又夜間點燈した時に人の影が外に寫らない様にすることも、忘れてはなりません。獨り地質計りで無く、窓の周圍を氣持良くする爲に、特に壁との關係を良く考へて、その色や紋様に良い調和を得ることが必要であります。若しブラインド又はレースカーテン等を併用する時には、その上部の見苦しい所を蔽ふる爲に、上飾り即ちバランスを取附ける必要があります。尤も之は此の邊から光線の漏れることを防



ぐ爲にも用ひられる。

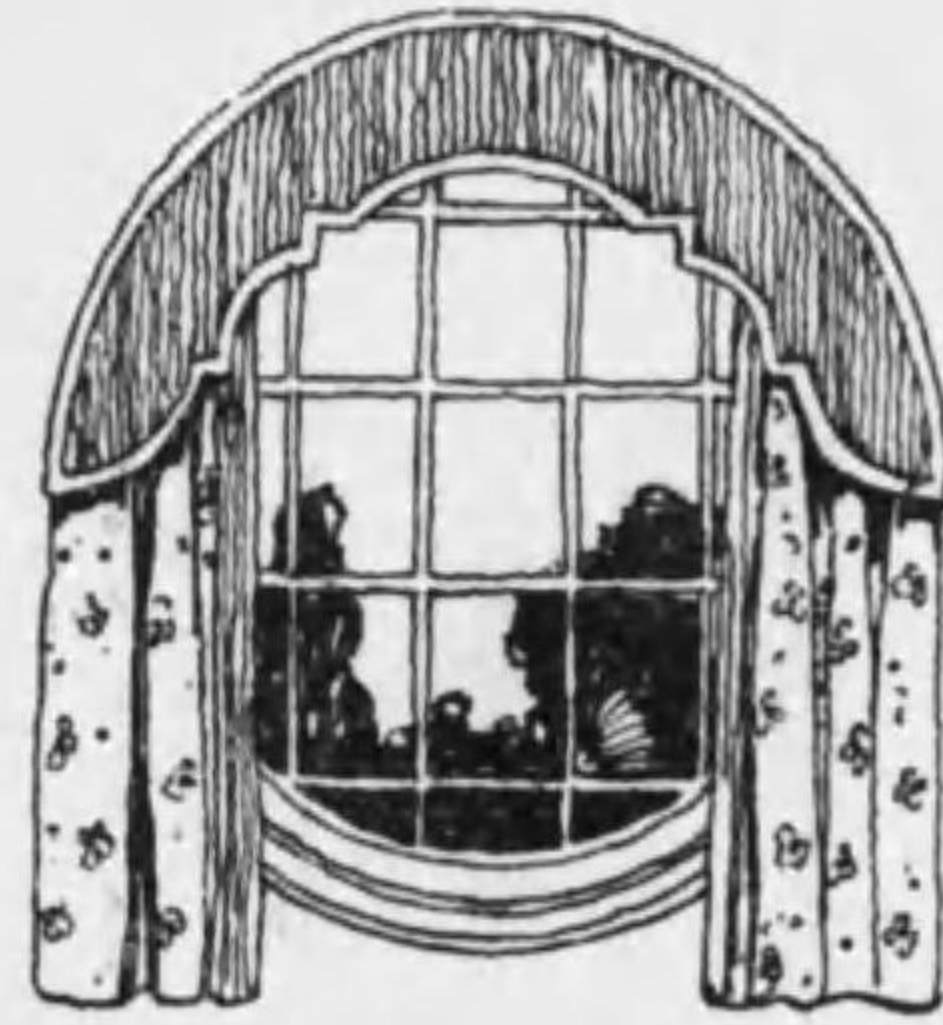
カーテンの高さは、窓臺一パイにする時と、夫れよりか五寸位下げる時と、更に床迄長くする時とがあります。一般に窓臺よりも五六寸下りが最も多く用ひられます。又カーテンは之を括房カクワ又はバンドで束ねて、窓枠にシボル場合と、バンド無しにその儘下げる場合とがあります。束ねる時は、上から三分の一の所を占める時と、下から三分の一の所を束ねる場合とがありますが、その場に臨んで何れにかいたします。バンドは長さ一尺から一尺二



単窓のカーテン

三寸、巾二三寸位のもの、共裂れで二重に袋縫ひとしたものを用ひます。そしてその兩端にフック又は紐の環を取附けるのであります。

カーテン地として今日専ら用ひられるものは、ヴェルベット、クレトン、タベストリー、ポプリン、ダマスク、リンネン、インディアンシルク、クレープ、ブラッシ、ボンジー、



圓窓のカーテン

レップ等様々のものがあるが、更に地質の薄いものや、その紋様や色合の如何によつては裏地をつけることもあります。要するに、暗い室内には明るいものが良く、景色の良い庭に面した方には、薄地のものが適當いたします。又廣間や書齋には落着いた色合のものが

良く、居間には楽しさうな裂れ地、食事室には清淨で且つ暖か味のある裂れ地などが良く適當致します。

尙ほバランスは裂れ地の代りに木で作ることもあり、此の場合にはカーテンボックスといふて、其の木の表面は他の木部と同じ仕上が良い。上の方を塞ぐから餘り短い高窓などには不適當であるが、床迄ある高い窓には最も適當致します。若し裂れ地で作つた時は、其の裾にフレンチを付けたたり、又は襷を取ることも良いと思ひます。但し此の裂れ地はカーテンと共に裂れにしても、又は別々にしても良いが、別々にする場合には、上のバ



ランスに紋様のあるものを選んで、カーテンに無地のものか或は之に近いものを選ぶと良く調和いたします。地質も餘り差の無いものが良い。若し差をつけければ、寧ろカーテンには少し薄いもの良いと思ひます。

### 一五 カーペット

敷物は室内の最後の裝飾として最も重要な位置を占めて居るものであります。前の壁紙と同様に、其の面積が大きい丈に、其の色合や模様などの室内全體の氣分に影響するところが大きいから、従つて之が選擇には、周到の注意が必要です。假りに出來上がつた室内が餘り陰氣だつたら、之に陽氣の色調を選び、若し之が反對の時は、比較的靜かな色を選んで、之に調和させることが必要である。

カーペットが室内の保温や、足の觸りを良くすることは勿論であります。兎角日本人は之に對して、在來の習慣上極めて軽く見て居られるが、實際木造の床上で、直接に生活す

ることは、恰かも疊の無い部屋に住むのと同様に、頗る心地の悪いものである。殊に冬季に於ては一層カーペットの必要を感じます。

元來カーペットは最も高貴なもので、就中絨氈の如きは、之を美術的の方面から見ても或は歴史的の方面から見ても、中々價值のあるものであります。殊に絨氈は東洋人の創製とも言はれて居る丈に、東洋の敷物は西洋の敷物が機械で作られるのに對して、凡て手工で永い時間を費やし、且つ其の織り方も大變確つかりして居る爲に、最も尊重されて居ります。東洋の絨氈の中にも亦色々の種類があつて、其の重なるものは、トルコ絨氈と、ベルシヤ絨氈と、インド絨氈と、支那絨氈とであります。就中支那絨氈は最も上等で北京と天津の二つに分れて發達して居りますが、中々良いものが多く、近頃は日本にも大分多く輸入して居ります。

次に西洋の絨氈では佛蘭西と英國であります。佛蘭西のものは、色調の微細な點に於て最も特徴がありますが、中でもクリームピンクとローズピンク等は最も代表的の色調と



云はれて居ります。今日では國立の製作所を設けて、盛んに研究して居るのです。英國のものは、今日では一番多く日本に輸入されて居ります。比較的近代(十八世紀の中頃)になつて發達したもので、英國の中でも大部分は、イングランドの北部か、又はスコットランドで製作されて居るのであります。

更に日本のカーペットとして代表的のものは緞通であります。昔は仲々立派なものが埒で出來たのですが、現今では概ね褪色するので、頗る信用を落してしまいました。

茲に御参考の爲に、敷物の大きさを豫め知る爲に、英國絨氈の寸法を申上げて見ませう。但しカーペットの特に小形のもので、ストーヴの前とか、玄關の上り口や、階段の昇り口其他机の前や、寢臺の横に用ふるものを、ラグ(Rug)と稱して普通のカーペット(carpet)と區別して居ります。

カーペットの寸法	ラグの寸法
6'-0"×9'-0"	1'-10"½×3'-0"
9'-0"×9'-0"	2'-3"×9'-0"
9'-0"×15'-0"	2'-3"×15'-0"
10'-6"×13'-6"	3'-0"×9'-0"
11'-3"×15'-0"	3'-0"×15'-0"
8'-3"×10'-6"	2'-3"×4'-6"
9'-0"×12'-0"	2'-3"×12'-0"
9'-0"×18'-0"	3'-0"×5'-3"
11'-3"×12'-0"	3'-0"×12'-0"

尙ほ此等の敷物は、廊下や階段敷の爲に、無地やボーダーの附いてあるものもあります。幅は概ね貳尺二寸五分と三尺とがあり、長さは必要に応じて適宜に之を剃ぎ合はせて使用するので一つに剃ぎ絨氈とも呼んで居ります。



最後にカーペットと良く似たりリウムに就いて一寸説明致したいと思ひます。之には無地のものと模様付のものとの二種類がある。厚さは一分以上貳分五厘で、普通は一分八厘位である。元來英國が本場であるが、近頃は日本でも出來ます。巾は普通六尺であるが、獨逸品は六尺六寸であります。普通之を床に張るにはパンジャク糊を用ひますが、又リウム専用のものもある。最初に貼り付ける前に假敷と云ふて糊を用ひず。又巾も切らずに數日間床の上に擴げて置くのです。左も無いと後で延びて皺が出て參ります。

スラグは、ヴェランダー等に用ひて中々味ひのあるものであります。

等であります。其の外壽織や平田織、或は最近の文化敷物などいふ専ら植物性のグレー

1'-10''×3'-0  
 2'-0×6'-0  
 2'-6''×2'-6''  
 3'-0×6'-0  
 2'-0×4'-0  
 2'-3''×4'-6''  
 2'-6''×5'-0  
 4'-0×7'-0

更に絨氈以外のものとして、サナビーと稱へるものは、羊毛製で實用向であり、ファイパーラックと稱へるものは、植物の纖維で製したもので夏向に良いものであります。ラックと稱へるものは、日本の所謂由多加織で、之には中々良いものがあります。浴室の入口に用ふるバスマットに適當し、亦日本室内に敷いても良く調和する。即ち古い裂れ地を洗濯してその儘用ふるので、色も雑多で變化に富み、米國に多く輸出して居ります。その大きさは

1'-6''×3'-0  
 2'-1''×4'-2''  
 2'-6''×5'-0  
 4'-0×7'-0  
 8'-0×10'-0  
 2'-0×3'-0  
 2'-3''×4'-6''  
 3'-0×6'-0  
 6'-0×9'-0  
 9'-0×12'-0

等であります。尙ほブレデットと稱へるものは、前と同じ様なもので、眞田風に古い裂れ地を編んで、之を互に接合したものであります。形は概ね楕圓形で、その大きさは



リノリウムには無地のものゝ外、紋様附のものがありますが、之にはインレイドと稱へて、中迄紋様が通つて居るものと、又プリントと稱へて、紋様を印刷したものとあるが、印刷したものは後に剝がれて見苦しくなる恐れがあります。巾は六尺が普通で、時に十貳尺のものもある。紋様は概ね幾何學的のものが多く、近頃は中々良いものがある。尙ほリノリウムと良く似たもので、コルクカーペットと稱へるものがありますが、一種のリノリウムで、コルクの細粉末を之に入れて作つたもので、足觸りは護謨に近く、その色にも五六種あります。

## 一六 電 燈

電燈を設備する場合には、其の部屋の目的や大きさなどに依つて、先づ最も良く之に適當する燭力を定めて、それから次に電球の種類と反射笠とを選ばねばなりません。

第一に燭力の大小に就いて申上げれば、室内が暗いといふことは、單に眼の衛生上から

悪いといふ計りで無く、精神上には不愉快で、仕事の能率の上に著しい損失を與へるものであります。之に反して又明り過ぎるといふことも亦不衛生であり、且つ不經濟である。弱過る害よりか、強過る害の特に甚だしいことは、大に注意せねばならぬことであります。一般に適當と認められる燭力は、床面が二坪の時は二十四燭光とし、三坪の時は三十二燭光、四坪の時は五十燭光、五坪の時は百燭光とするのが一般である。要するに夜も晝も同じにするといふのが燭光の方面から見た理想であります。

次に電球は普通透明な硝子で造つた真空の球と、瓦斯入の球とがあります。透明の電球は頗るキラ／＼して眼の衛生には良くないが、瓦斯入の電球は此の點に對して可成りに良く改良されたものであります。尙ほ硝子は透明のものゝ外に艶消のものがあります。艶消硝子は眼の爲にも良く、殊に光が穏かで、非常に氣持が良い利益があります。更に最近のもので、乳白色の硝子や、又カナリヤ電球と稱へて硝子の色が深い黄色を帯びたもので、眼に有害の紫外線を吸収する、衛生上最も理想的に改良せられたものもありますが、讀書



などに對しては、最も適當のものであります。

反射笠は光を必要の方向に反射させる爲に用ふるものでありますが、一面には又室内の裝飾としても、常に重要なものであります。如何程明るい電球でも、之に適當の反射笠を用ひぬと、燭光の能率は非常に減じて参ります。普通之に直接照明と、間接照明と、半間接照明の三つの種類がありますが、第一の直接照明は電球が現はれてそれからの光が直接照らされるので、今迄最も多く用ひられて居るものであります。之に對して間接照明は其の電球の下に、更にボウルを用ひて電球が直接眼に見えない様にしたものであります。更に此のボウルを半透明のもので作つて、光の一部分を直接下に通す様にしたものを、半間接照明といふのであります。

元來間接照明は、眼の衛生から見て最も進歩したものでありますが、價格の高い關係から、我國では多く半間接照明を盛んに用ひて居るのであります。

次に反射笠に就いて一言したい。其の材料が金屬であれ、硝子であれ、其他絹でも、麻でも、紙でも何にしても、最も良く其の室内の色に釣り合つた色を選ばねばならぬことは勿論であります。晝間申し分の無い良い色でも、夜間光が夫れを通した時に、思ひもよらぬ色となることがあります。之に對しては笠の裏に絹か又はクレトン地の他の色で二重に掩ふと良いのです。其の爲に光が二つの色を透して、夜の室内に良く調和する計りで無く、光としても軟かな感じを與ふことが出來ます。此の裏張に對して、最も効果のある色は、特に強い光を要しない限りは、中性のクリーム色とか、ピンク色、又は橙色や、黄色などが適當し、一般に笠の外側の色に對して、冴えた感じを與へることが出来るのであります。そして室内の色が綠色を帯びた青色の時は、金色か又は褐色の笠が良く調和し、クリーム色に近い黄色の時は、其のフレンチと共に、綠色を帯びた青色が良く調和いたします。薄い桃色の絹張りとした笠は、如何にも柔らかで、女性的の室内には最も良く適當するものであります。



## 一七 家具の手入

最後に家具の手入に就いて一言申上げたいと思ひます。日常の家具類に良く手入を施して、常に見事に之を保存することは、左程大した費用も手数も要しないで、而かも日常の生活を氣持良くする上に、極めて大切のことでもあります。凡て家に親し味を持つ爲には、成る可く自分で出来る所は、自ら手を下してやる必要があります。一般に洋風の家具類には、概ね硬木が用ひられ、且つヴァーニッシュで仕上げたものが多いから、之が手入は今迄の軟木や漆で仕上げたものと違つた方法に依らねばなりません。そして毎日の手入としては、空拭きと稱へて乾いた地の悪い艶布巾で、成る可く傷のつかない様に拭き上げるのであります。

以上の手入の外に、其の使ひ方の程度に因つて、一月に一回か若しくは二回は、更に之を蠟拭きとする必要があります。蠟拭きの中にも色々あるが、最も溶解點の高い蠟は、カル

ナークと稱するものでありますが、之は其の溶解に高温度を要する爲に、豫め溶解して直ぐに使用し得られる様に、市場の製品として現はれて居りますが、ポリリンと稱へるものは、即ちその一つであります。我國にある密蠟や黄蠟は、其の溶點が之に比較して遙かに低いので、完全なものではありませんが、其の溶かし方は至極簡單であります。即ち先づ細かに之を切り碎いて、洗面器の様な大きな器の中に入れ、靜かに火熱すると、忽ちに溶解いたします。其の溶けた蠟の熱い内に、約三倍のテレメン油を入れ、棒で靜かに攪拌しながら冷却せしめると、恰かも水飴の様な状態となります。此の塗り方は、先づ塗面を軽くサンドペーパーで磨いて其の艶を消し、次に刷毛で此の蠟を塗り、約一時間計り乾かした後、餘分の蠟を拭き取つて十分に擦り上げると、極めて温雅な光澤が現はれて來ます。但し塗料の濃度はテレメン油を用ひて、常に適當に之を稀釋する必要があります。

茲に蠟の一種で、ポリリンと同様に、豫め溶解して販賣して居るものに、ブリリアンチンと稱するものがあります。其の外観は淡褐色の糊状を呈し、指頭で其の表面を壓すると



直ちに溶解し、而かも使用した後に於ては、其の質が頗る強固となり、聊かも脂肪氣を殘さないで、且つ相當の光澤を發し、水濕に對しても相當の耐久力を有するものであります。之が用ひ方は、極めて其の少量を布片又は指頭に附けて、家具の表面に斑無く塗り付け、更に他の乾いたフランネルやメリンス又はラシヤの類を用ひて、數分間丁寧に研磨すれば良いのです。

凡て塗料には一定の生命があつて、決して無限に耐えるものではありません。塗料の種類や、其の塗り方の程度、又は之が取扱ひ方等に因つて、其の壽命にも亦自ら差違を生ずるものであります。就中スピリット、ヴァーニッシュは最も生命が短かく、普通二ケ年位を以て塗り替えの期限と致しますが、若し今日の如く其の塗料の特質をも顧みず、日常手荒く使用する茶卓子や食卓子の甲板等に用ふる場合には、其の塗面は忽ちに白色の斑點を生じたり、又は龜裂を生ずるに至るものであります。若し此の部分丈けなりと、耐久力のあるオイル・ヴァーニッシュを用ふるか、或は漆拭きとするならば、斯かる缺陷を招く恐れは無い

筈です。假令此等の強い塗料を用ひても、其の下塗に弱いシエラックが塗られてあるならば、矢張此の故障を生ずることは免かれませんが、斯かる場合には、其の塗替の時期に先んじて、先づ之を修理せねばならぬ必要に自ら迫られて來るものであります。

以上の如き部分的に生じた塗料の缺陷に對して、其の損じた部分丈け繕ひをして、完全に仕上げることは甚だ困難のことです。尠くとも其の甲板の表面の塗料は、残らず之を剥ぎ取らねばなりません。凡て古いシエラックや、或はオイル・ヴァーニッシュでも、又はペイントでも、之を見事に剥ぎ取る爲には、ヴァーニッシュレムーヴァーと稱する、一種の軟化剤を用ふると便利であります。之は無色透明の塗料であるが、之を刷毛塗して約二十分間位經過すると、古い塗層は軟かくなり、其上を鉋刃か、木筥か、或は又布切れで擦ると、其の着色と木地を損ぜずに、極めて手軽に剥ぎ取ることが出來ます。斯くしてテレメン油を以て一回其の表面を拭ひ、然る後に再び新しい塗料で其の表面を仕上げるのであります。併し家庭で手軽に之を取扱ふとするならば、最も手軽な塗料を用ふる必要があり



ます。之に對してはスタンヴァーか、或はダイヤモンド漆などは、比較的適當のものであります。

スタンヴァーは一見オイルヴァーニッシュに似て、恰かも其の上塗と研磨を同時に兼ねしめた、極めて輕便なものであります。其の外観は無色透明で、且つ相當の光澤を有し、濕氣や熱に對しても亦相當に耐久力を有して居ります。其の塗方は木地の表面を一二回刷毛で塗るか、或は布に附けて拭けば良いのです。但し一般に軟木は硬木に較べて、其の吸ひ込みが早いから、約六七分で乾燥し、下塗の上には、其の吸ひ込みが少ない爲に、之が乾燥には約三四十分を要します。又ダイヤモンド漆は透明で飴色を呈せる油狀の液で、寧ろスピリット・ヴァーニッシュに良く類似して居ります。其の乾燥が速やかで、且つ適當の光澤を有して、濕氣や熱に對しても亦相當の耐久力があります。其の塗方は頗る簡單で、殆ど前のスタンヴァーと變りはありません。普通其の儘か若しくはアルコールを適宜に混じ、之を稀釋して用ふれば、約三十分間で全く乾燥いたします。

スリーシモロク  
座 講 識 常 藝 工

昭和五年二月廿八日印  
昭和五年二月廿八日發

行 刷  
近代生活の家と家具と裝飾  
定 價 金 二 十 錢

著 者	帝 國 工 藝 會	代 表 者 青 木 利 三 郎
發 行 者	東京市神田區通神保町一番地	株 式 三 省 堂
印 刷 所	東京市外 蒲 田	代 表 者 神 保 周 藏
	株 式 三 省 堂 蒲 田 工 場	

發行所

東京市神田區 通神保町	株 式 三 省 堂	株 式 三 省 堂
大阪市南區 順慶町通	株 式 三 省 堂 大 阪 支 店	



329  
20

!!クッブドンハの須必人代近

<p>賣上本位の陳列裝飾 四七頁 廿錢 送料二錢 中里研三著</p>	<p>染織物の常識 四七頁 廿錢 送料二錢 西田博太郎著</p>	<p>最近の寫眞術 五〇頁 廿錢 送料二錢 鎌田彌壽治著</p>	<p>歐米美術工藝小觀 四八頁 廿錢 送料二錢 豊泉益三著</p>	<p>電氣サイン及看板照明 四六頁 廿錢 送料二錢 内坂素夫著</p>	<p>小住宅の洋風裝飾 四七頁 廿錢 送料二錢 山本秀太郎著</p>	<p>飾窓の照明法 五四頁 廿錢 送料二錢 關重廣著</p>	<p>着物の流行と織物 四七頁 廿錢 送料二錢 鹿島英二著</p>
<p>ト 九〇頁 卅錢 角倉則之著</p>	<p>石油の常識 六〇頁 廿錢 小林久平著</p>	<p>最近のソヴェートロシア 八〇頁 廿五錢 昇曙夢著</p>	<p>支那勞農階級の生活 八五頁 廿五錢 後藤朝太郎著</p>	<p>漆と其工藝的應用 五六頁 廿錢 澤口悟一著</p>	<p>近代生活の家と家具と裝飾 六六頁 廿錢 木村一著</p>	<p>血壓と動脈硬化 六〇頁 廿錢 上條秀介著</p>	<p>(各方面に亘り續々) 近刊の豫定 定價の外にいづれも要送料</p>

C. ①

行發堂省三



終

